男女貞潔之理想 公娼廢止之主張

會長 島田三郎 副會長 安部磯雄

4—123

廓清

第七巻第四號

□廓清時言……江南
□有權者撲滅論……早大教授 安部磯雄
□婦人より望む選擧廓清……矯風會頭 矢島楫子
□選擧法を改正せよ……貴族院議員 江原素六
□妻格ありて人格なし……農法學博士 新渡戸稲造
□青年と性慾……醫學博士 藤浪鑑
□婦人の犯罪研究(二)……内閣統計官 横山雅男
□新入學と其家庭……東洋大學教授 高島平三郎
□力を以て起て……文學博士 福來友吉
□天鼓の響……有馬純雄
□彼女の死……婦人救濟係 伊藤大尉
□最近の廓清運動……白萩生
□上流社會の誡……法學博士 山脇玄
□廓清春秋……元大連商業學校長 河合北洲

東京 廓清會本部 發行

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ライオン煉歯磨

新しい容器に盛る
新しい製品！
ライオン煉歯磨は最も進歩せる歯磨の形式にして、
品質優秀・使用便利
香味佳快・効果的確
現代人の最も歡ぶところ。
新しい時代に要する
新しい氣分は個中に在り！

（定價壹箇金三拾六錢）

ライオン歯磨
ライオン石鹸
本舗 小林富次郎 東京本所區外手町
支店 大阪市區博勞町二丁目
名古屋市榮町四丁目

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長

診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町六二番　**東洋内科醫院**

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

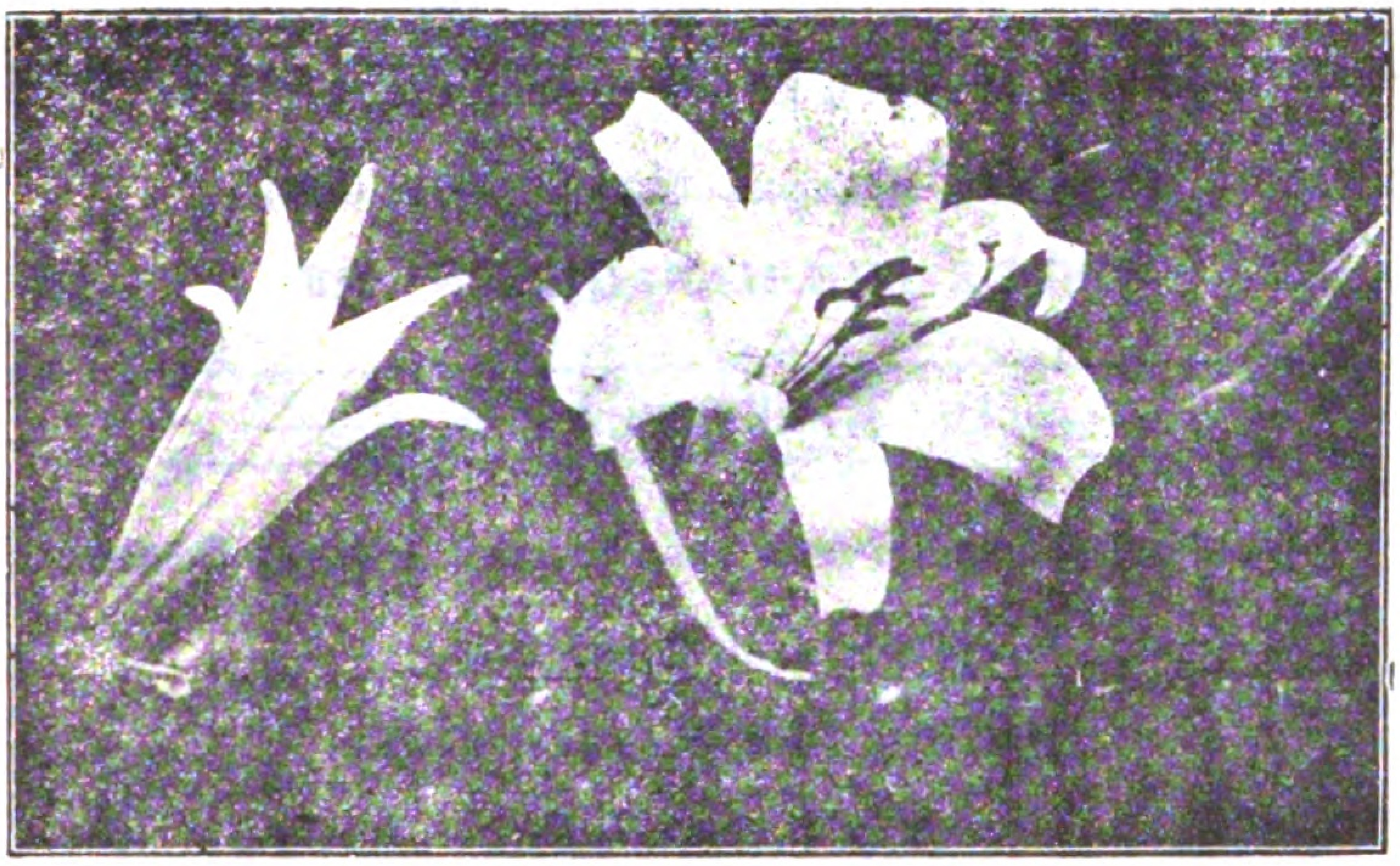
診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

廓清

THE PURITY.

大正六年四月

第七巻第四號



廓清時言

權利なきものの悲哀

廓清會や矯風會が、過去の運動に於て嘗めたる最も苦き經驗は『權利なき者の無能』てふ事とす。吾人が當局に請願陳情したる事は大小前後幾度なるを知らずと雖も、得る處常に空しく、官吏の頑迷に惘れ、正義人道も彼等の前には何等の權威に値せざるに驚き、歎願の効力に愛憎を盡かし近來は最早力を以て理想を行ふの外なきを充分に悟了し、矢島先生の如きは遂に英國の婦人參政權運動に痛切なる共鳴を感せらるゝに至りたるが、男子は女子と異り選擧權を有し居るが故に、自ら此の權利を適當に行使せんか、依て以て自己の理想を多少社會に行ふを得可し。

然るに今日の候補者を觀るに、例によりて人格識見共に下劣なる輩のみにて又黄金を撒布して以て當選を期せんとす。議會の墮落政治の腐敗宜なりといふ可く、一夫一婦の請願、公娼廢止の請願が一笑の下に附し去られ眞に吾人の主張を理解し賛同を表せんとする者の、いつの議會にも十指をだに屈する能はざるは、其罪寧ろ國民に存す。冀くば今日の機會に於て自己の權利を適當に行使する事を忘れ、他日議會に人なきを憂ふる勿れ。

鎌子事件と社會道德

芳川伯爵家の若夫人と其抱へ自働車の運轉手との間に起りたる非倫極まる情死事件は、殆んど一世を驚愕せしめ指彈論難の聲囂々たる有様なるがこは元より社會の師表たる可き高貴なる地位の家庭に起りたる事件なるが爲めにして、其惡影響も甚だ大なるものあるべく、或は一斑を以て全彪を

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

卜す可くんば、偶々上流社會の腐敗を曝露せる重大なる風紀問題とも觀るを得可し。吾人は家庭に立入つて其原因を探求するを欲せざれ共、惟ふに其根本は必ずや愛を基礎とせざる結婚制度、非人格的結合の產める罪惡に歸するを得ん。

吾人は素より男女道德を高調する者、本件の如きに對しては最も深刻峻嚴に論評を下して、世の反省を求むべきなるが、熟々之に對する社會の態度を觀るに、論難極めて嚴正、其家庭に對しても猛擊一毫も假さゞる概ありて、社會の道德的意識は頗る吾人の意を強からしむるが如きものあり。

されど飜つて思ふに、我國の男子は果して能く彼女の非行をしかく攻擊し得る資格ありや、聞くが如くんば、其の郎君某氏の如きは常に醜業婦と戯れつゝありしといふ。自ら節操を持する事なくして如何んぞ他人に節操を強ゆる事を得ん。而してこは獨り其郎君に止まらず同時に全く我日本男子の性的生活を語るものにして、社會之を咎むるなく、男子の不品行は公然として行はれつゝあり。更に見よ我國家は、五萬の同胞婦人を縛して男子に其節操を蹂躙せしめつゝあるに非ずや。如斯にして獨り婦人に節操を強ひ、峻烈なる制裁を加へんとす、自己矛盾に非ずして何ぞ。我國の家庭の如きは悉く鎌子を生むべき遺傳と環境とを有す。吾人は彼女の非行を憎むと共に、此偏頗なる道德を責むるに急ならざるを得ざる也。

花柳病取締を嚴にせよ

倫敦電報は、英國内務大臣サー●ジー●ケーヴ氏は左の如き刑法改正案を下院に提出したるを傳ふ。

一、花柳病患者にして他人と肉交をなし、或は肉交をなさんと企てたる者は二ケ年の懲役に處す。

二、十六歳未滿の女子と淫猥なる行爲をなしたる者は二箇年以下の懲役に處す。

三、風俗壞亂的の稼業を營む者は五百磅の科料又は一箇年の懲役に處す。

四、風俗壞亂的賣藥行爲をなす者は百磅の科料又は六ケ月の懲役に處す。

瑞典、丁抹等に於ては花柳病を急性傳染病の如く嚴重なる取締をなし成績を收め居れるが、英國も亦花柳病患者に對し如斯法律の實施を見むとするに至りたるは、社會風紀の爲め公衆衛生の爲め甚だ喜ぶ可き傾向といふ可し。

私娼漸く又跋扈す

桑港にては目下中央美以教會牧師中心となりて、醜業婦撲滅運動をなしつゝあるが、市内の醜業婦は爲めに一大恐慌を惹起し、遂に大擧して同教會を襲ひ、スミス氏に對して『攻擊を止むるか、然らざれば我等に生活の基礎を與へよ』と迫まりたりといふ。

我國に於ける醜業婦は頗る事情を異にし、米國の如く窮迫せる生活難のある事なし、然るに私娼撲滅の手近來漸く緩みて、市内に却つて散在せんとするが如きは甚だ恐る可し。公娼奬勵の矛盾を敢てする間は、賣淫の要求減するの理なくして、私娼の取締に難ぜん。風紀刷新の道は公娼の廢止の一擧にあり、女子の生活難の如きは我國に於て謂ふの要なし。(江南)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

有權者撲滅論

廓清會副會長
早大教授　安部磯雄

□政黨悉く撲滅すべし

先日、某雜誌記者が來て、今度自分の雜誌が憲政會撲滅流を出すに依つて、私に其意見を聞き度いものであると問はれた。私は之に答へて『憲政會撲滅も成程結構には相違ないが、それと同時に政友會並に國民黨をも合併して撲滅したら如何でせうか』と答へた。すると記者は更に曰く『では貴殿は、既成政黨は全部不可といふ說ですね』と尋ねられた。

勿論、現在結黨せる有らゆる政黨は皆不可であつて、撲滅す可き者であると思ふのである。第一憲政會にあつても之を最近に於ける歷史から考へて見ても之を不可とすべき幾多の理由が在る、大隈內閣が執つた政策に就て鑑みるも隨分批難があつて、如何に堂々たる政黨として今日誇つて居ると雖も、決して眞の立憲的政黨と稱する譯には行かない。と同時に政友會も又甚だ遺憾とす可き歷史を持つて居る。殊に立憲政治の爲めには從來執り來つた政策から追想して見て何等盡す處がなかつた。近本山本內閣が仆れねばならなかつた理由抔も、極めて世間に顏向けの出來ぬやうな恥曝しの事がらであつたのである。又た國民黨に於ても、口に正義を唱へ憲政の本義に固く政黨は恐らく我黨のみであるかのやうに、殆んど憲政の獨占黨のやうに世間に吹聽して居るけれども、之とても其爲す處を凝視して居ると、政憲兩黨と五十步百步の類であつて、決して國民黨夫れ自身が吹聽するやうに、立憲の獨占的本家本元とは迚も申されない。同黨が成立した其當時の國民の考へには、或は其樣な見解を爲す者があつたか

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

も知らないが、少くとも近年に至つては其樣な考へを持つて國民黨の長所として迎へる者は漸次減つて來たに相違ない。殊に犬養總務は、先般內閣劾彈の爲め憲政會と握手し、一朝議會解散となるや、忽ち前に情意投合した憲政會を罵り出すといふが如きペテンに掛ける抔は實に苦々しい事であると謂はねばならない。

□寧ろ有權者撲滅を急とす

◎如斯術策は或は今日の政治界に於ける、最も巧な方法であるかも知れないが、少くとも之れを政治の德義といふ點から見れば至極遺憾な話である。今日政治界は孰れの方面を見渡しても實際此の政治の德義といふものを見出す事が出來ないのである。又今日の政治家の多くは、未だに支那の三國當時の政治家のやうな考へを有つて頗る氣取つて居る者抔があつて、權謀術數を誇り譎詐變幻を喜び、孰れの政黨が優劣であるか定めるに足らない。政黨が徒に蝸牛角上の爭を事として國利民福の高處大處に頓着せない限り、其存在が既に苦々敷事と謂はねばならないと思ふ。斯く考へ來へて見ると悉く政黨撲滅なら仕極贊成であると記者に答へた。且つそれに附加へ『政黨撲滅も勿論肝腎な事であるが、倘一步進んで考へるならば、有權者撲滅の方が適切緊要ではあるまいか。寧ろ前者よりは後者の方がより多く徹底し得て、且つ今日の場合に實行し易いことであり、必要であらう』と謂つた。

□枝葉問題より根本的解決

有權者撲滅抔といふと一面非常に極端のやうに聞えるが、眞實考へて見ると何うしても結論が此處に到着せなければ徹底し得ない觀がある。即ち政黨に弊害の伴ふ其根本は有權者が惡いからで、此點に就ては既に前號に於て大略述べた處であるから、茲には略して置くが、元來政黨の根本は即ち我々一個人の有權者から成立つて居るもので、決して政黨夫れ自身が自ら結合し得た譯の者ではない。隨つて有權者が其被選擧人の撰擇如何に依つて政黨の優劣を作るものと言ふ事が能る。されば飽く迄有權者は

衷心から眞實に國利民福を考へて、被選擧人を撰擇し投票を為すに於て初めて政黨其者をも完全なる者となすに至るのである。有權者は何處迄も確乎たる主義を持つて、政治に對する事が何より大切な事は今更謂ふ迄もない。

然るに有權者の中には隨分選擧といふ事を重んじない者がある。之等は宜敷矯正す可きで、有權者なる者は政治上に對する節操があつて、飽く迄憲政の爲めに盡す處の代議士でなければ選擧せぬやうに為なければならない。而して若し一身を捧げて憲政の爲め盡す處ある代議士ならば、何回でも之を議會に送り、一朝解散の如き場合には尚更運動費抔を鐚一文も消費させぬやうに、且最も苦痛とする處の戸別訪問抔も絶對にさせぬやうに、面倒見て遣つて、之を再選し安心して代議士が夫れ自身の主義理想をして、十分實現するやう庇護して遣るさいふやうに、有權者の多くが貞操を重んずるに至らば、軈て政黨其者が質に完全な理想的のものになつて、代議士は自分の所信をして斷々乎さ實行し得る事が出來る事になるのである。

□權力に媚ぶる國民性の暴露

處が現在の有權者は其九分通り、皆政治に對し忠實でないから、民黨は瓦解して了ふし、大隈内閣が議會を解散して遂に永久衰退するの時を見ざる可しとさへ云はれた彼の政友會を一切崩した事抔も遺憾なく有權者の腑甲斐なさを暴露した者であつた。此度の總選擧に於ても矢張政府側が、曩の大隈内閣の轍を踏む事が出來るといふならば、寔に嘆かはしい次第であると思ふ。從來有權者の多くが政府の干渉に依つて、投票を為なかつたり、又は止むを得ず見ず知らずの候補者に一票を入れたりした事に就て考へても、有權者は之を撲滅せねばならない事だと思ふ。而して其處に初めて政治界の腐敗を芟除する事が能るのである。其手段さして私は二つの方法を述べて見たい。

□普通選擧を唱道す

第一は選擧權擴張である。若し選擧權擴張が普通選擧迄進む事が出來たならば、其有權者の數現任より八倍位に達する見込がある。されば其一事に就ても或る意味に於て有權者を撲滅する事になる。加之新しき有權者は從來の夫より比較的良分子の者が多いと思はれる。何故ならば普通選擧であれば滿二十歳以上の青年であるから、除程調子が趁つて來るに達ひない。之に就て私の最も感じて居る點は、都會及び田舍に限らず、政談演會の聽衆は有權者でなくして大概青年である。現代の青年は當に演說會に限らず、政治上の智識に於て優に有權者より優つて居る者が多いから、之等青年をして有權者たらしめなば、選擧界の空氣は一掃する時期が來ると思ふ。其處に於て從來政治を弄んだ連中が驚愕するに相違ない。と同時に漸次夫等の連中も勢ひ撲滅されて行くのは理の當然である。

今日の政治界の墮落を救ふ道は、何うしても選擧權擴張の方法より他に策がないやうに思ふ。併し乍ら若し普通選擧になるさ、土方人足抔のやうな極めて低級な人達が入つて來て

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

今日より尙一層惡いものにして了ふと反對する者があるに相違ない。されば此場合敎育資格を附帶させるも一の方法であらう。卽ち中學校卒業の者ならば有權者の資格を與へる事にする。それさへ反對する者があるならば、それは甚だ不都合千萬の沙汰と謂はねばならない。今日の財產資格より寧ろ敎育資格の優れる者あるは今更呶々を要せざる事と思ふ。

選擧權の擴張は今や世界の輿論である。今度露西亞に於ける新內閣の綱領の中にも普通選擧を明言して居る。曾に國會議員許りでなく、自治制も同じく普通選擧である。歐米各國の文明國では皆普通選擧を實施されて居るが、獨り我國のみは左にあらずして、未だに政治界の腐敗を嘆き、選擧界の墮落を喞ちつゝも之を實施する事が出來ないのである。斯くして逡巡躊躇して居るならば、野蠻國抔と稱して居る支那あたりに乘越されて了ふやうな憂目を見なければなるまいかと考へると、今日にして尙我國が此の自己の權利に對する問題を閑却して、選擧權の擴張を爲し得ぬ抔は實に歎くの外はない。選擧擴張は今や焦眉の急に迫つて居る。國民各個の重大な生活問題を理解せざるが如くんば我國が戰後の國家的競爭に堪へ得ざるべきは明かである。

□投票權濫用と棄權を嚴罰せよ

而して他の是非共勵行して貰い度い一つは投票の濫用者に對する懲罰の方法である。神聖なる投票權を濫用する者あらば或る期間之を停止する事は當然であつて、決して無理ではない。賄賂を爲した者には十ヶ年間投票權を無効にするといふやうな方法で若し二回以上に亘つた場合は終生夫れを取上げて了ふ事は遠慮の要らない事である。投票權を濫用する者は丁度小供に利刄を持たせるのと同じで、寧ろ危險である。宜しく一回の處罰に依つて直に權利を取上げるが至當であると思ふ。特に運動者等に不都合な行爲があつたなら、之を嚴罰に處するやうな方法を執つて行けば軈ては有權者の撲滅さもなるに至るのである。

其他の方法として極めて有效であらうと思ふのは、義理に絡まれて大切な投票權を棄權する者に對する制裁である。從來棄權者は却々多かつた。現今でも隨分棄權する者があるけれども、夫等は孰れも政治に對して冷淡なるが爲めである。之等の惡弊を一掃せんが爲には是非共敎育の力に待つて、棄權の非なるを國民一般へ眞に徹底せしめなくては不可ぬ。而して若し投票出來ない場合、例へば病氣等の際には醫師の證明書を其筋へ出して、自分の投票權其者に就き明示して置くやうにする。假りに故なくして怠つた場合には科料（金二圓?）に處す、といふ規則を設けて否應なしで投票させれば、自然眞面目になつて行くに相違ない。今日棄權する人達の多くは、皆相當に政治に對して理解ある階級が多い、寔に殘念の至りではあるまいか。

□競技の原則は公平均衡

最後に述べて置き度い事は、今日の場合選擧其者を一種の勝負事の爭ひの樣な狀態になして居る弊害である、是非國民一般に此反省を促したい。全く角力、ベースボール、テニス

杯に於て其勝敗を競ふやうに、孰れの政黨が勝つか敗けるかと片唾を吞んで、最も興味あるものとして見て居るのは今日の總選擧である。

一體競技の原則は公平即ちヘイアー、プレイでなければならないものである。ヘイアー、プレイといふ意味は、互に實力を以て競ふといふ事であつて、其場合は何等かの方法手段に依つて相手方に不利益となるやうにする杯を絕對に嫌ふのである。歐米各國に於ける遊戲は皆其れに據つて競技して居る。我國の擊劍も即ちそれである。近來我國でもベースボールや、テニスの競技に彌次が行はれて、種々なる弊害が其處から生ずるからといふので、之を禁止しやうと考へて居る人がある。至極尤もな事であつて全く今日は孰れの競技に於ける彌次でも必ず弊害が伴ふやうである。

元來彌次は味方を獎勵するに初まつたのであつたが、漸次敵に妨害を與へるやうな狀態になつて了つたのである。之れでは競技の精神たる公平が見出されなくなつて來る、歐米に於ては殊に此公平といふ事は矢釜しい、假令へばベースボールの際には自分達が常に行りつゝある運動場で爲る事は力強いが、敵が馴れない運動場で競技する事は敵に不利益を與へるといふ意味になるからといふので、中立のお互に不馴な所を運んで試合をなし、凡て敵に不利益を與へぬやうに力めて居るのである。

飜つて我國の武士道でもさういふ實例が隨分あつたのである。果し合の場合一方が、偶として木の根に躓いて仆れると其隙に乘じて斬り込んで行く事は武士として、頗る恥辱とする處であつた。だから先方が起上つて來る迄、待つて居て又更に試合に取り掛るのが武士の武士たる精神であつた。

□選擧の公平期し難き乎

然るに今の政府當局者たる比較的智識階級者は、總選擧の際に公平なる手段を執つて敵味方區別なしに同條件で競爭を爲さしめたかと言ふに、決して然うではなかつた。現內閣は今回の總選擧に大干涉を試みるといふ新聞の報道並に批評であつたが、之は從來の政府の取り來つた政策と何等の懸隔がない。選擧干涉は今日許りではなかつたのである。大隈侯の如き比較的公平の考へを持つた人迄も、是非反對黨を仆したいといふ處から隨分干涉を試みた事も聞いた。夫れ以前の內閣皆然りであつた。今は只干涉の極端に達して後初めて目が醒むるを待つより他に方法が見出し得ない程の辛辣さである。

實際、政府夫れ自體が、己れの配慮する機關を使つて不公平な選擧を爲さば、如何なる內閣も成立し能はぬ事はない筈である。故に議會を解散して、總選擧さへ遣れば必ず地盤が擴大されて、比較的妥全な位地に居る事が出來るといふ一定の相場が決つて了ふ事になる。斯くして國民は解散といふ事を聞けば、夫れですぐ政府側の勝利といふ考へが浮ぶやうになつて了ふ。其原因は實に有權者が投票權を濫用する結果に外ならぬのである。

私は惟ふ。中間に位する凡ての政黨、即ち現在では憲政會、政友會、國民黨其他の者の罪は輕くして、反對に有權者が最も罪の重い者であると。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

選擧法の改正を望む

貴族院議員
廓淸會評議員　江原素六

選擧廓淸といふ事に就ては、常に考へて居ない譯ではないけれども何を言ふにも、我國の政治界に於ける混沌なる空氣並に國民全體が政治といふ者に就ての知識の程度の極めて低級な事や、立憲政治とは如何なる意義のあるものかに就ては一向辨へて居ない者が多い、皆無茶苦茶な考へを持つて理想も主義も何も彼もあつた者ではないので、隨つて此混沌錯雜せる所謂亂麻を斷つの擧に出でる事は、如何考へて見ても時期尚早の觀がある。といふやうな譯で、私は只自身の内心で私に憂ふるのみで、從來之を口に出して社會に發表した事抔はなかつた。現在でも然う思つて居るから、此際國民をして五里霧中に投せしむる事は、理想としては誠に結構な事に違ひないが、今日の場合では、迚も政治に對する態度を徹底せしめやうとした處で出來ない話であらうと思ふ、寧ろ國民の自覺を待つて後、然る可き良方法を執つた方が、遙に好結果ではなからうかと。斯う考へて居るが爲め、固より選擧廓淸には至極贊成する處であり、且つ平常の理想と致して居る處であるけれども、現在の狀態では遺憾乍ら、一刀兩斷、此政治界をして青天の下に在らしめんとするは、私の少からず躊躇する處である。

だから現行の選擧に關する缺陷を捉へ來て、一々指摘批判するは寔に最と易い事ではあるが、其枝葉の問題に就て兎や角言ふた處で仕方がない、それよりか寧ろ其根本の廓淸に着眼して、十分研究調査して、初めて理想の廓淸が斷行せられ理想の選擧の行はれる樣にしたいものと考へて居る、分けて現在の場合の私の立場から選擧に就て思ふ處を忌憚なく述べる事は出來ないから、從來の選擧に就き微細な點迄追及批評する譯には行かない、只理想は確に持つて居るといふ丈に留めて置きたいと思ふ。

私をして選擧廓淸の理想を一言に曰はしむるならば、寔に大雜派な感があるやうに考へる人達もあらうけれども、差し當つて先づ選擧法の改正といふ事より他にこれといふ適當な策を見出し得ないやうである、夫から選擧法を改正したら、之れと相俟つて個人々々に良心、卽ち政治道德をして向上せしめるやうにして遣らなければ、却々理想に達せしめやうとした處で無駄な譯である。勿論其他の點に就ても思う處があるが、今日の場合私は此れ以外言ふ事を好まないから、選擧の廓淸といふ事は至極贊成であるけれども、其選擧法の改正以外に捷徑はないといふ丈に止めたい。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人より望む選擧廓清

婦人矯風會頭
廓清會副會長　矢島楫子

□第三者の選擧廓清觀

現在我國に於ける婦人にあつては、一人の有權者すらも無い場合、總選擧廓清といふやうな事に、私共婦人が兎や角嘴を入れる事は、時代に適應しない無鐵砲な議論で、甚だ其當を得て居らないと仰やるお方も厶ゐませう。けれども私共が從來或主義の下に、社會の侮辱と反對等に屈せず繞まず今日迄奮鬪して參りました、此極めて長い歷史ある本會の立場から觀れば、適令國政に參與する資格が無くも、且夫れ許りか、其代議士すらも選擧するの權利が無いとは謂へ、是非共現在の夫等多くの人々に訴へ申さねば歇まない點が幾何もあるので厶ゐます。

這麼事を申すと、或者は婦人の分才で有り乍ら政治に對して云爲する杯は、頗る片腹の痛い事だと、頭から罵倒して一蹴し去る人達もありませうし、又夫れと全く正反對に、昔日の事態はイザ知らず、廿世紀の今日では、婦人の地位が決して男子の從屬にある可きでなくして、男女は同權なるが故、婦人は從來の屈辱的境遇から覺醒脫却し、婦人自身の爲め、且つは又國家の爲に盡す處があつて然る可しで、現在の婦人の如く何事も男子の爲す儘に傍觀して居る杯は、寔に以て齒痒を感ずる次第であるから、宜敷參政權獲得に熱中せよと稱へる人もあらうけれども、現在の社會狀態から熟々考へますと前者は時代遲れで、後者は時期尙早の觀がありまして、共に無理解と理想論とに終つて了ふやうに思はれます。

□飛田問題より得た點

扨て夫れでは、婦人矯風會なる者は、婦人參政權獲得といふ事に就て、未だ嘗て留意した事がなかつたかといふに、決して然うではありません。從來私共の活動が如何なる主義主張の下に、非常なる社會の反對と鬪つて、今日迄斯うして參りましたかその歷史を御覽下さらば、一目瞭然なのでありますから、其問題に就て餘り諄々しく申上げ度くはありませんが、私共が陰乍ら盡す可き道は、即ち間接的ではありますが、『將を射んとせば、先づ其馬を射よ』で、家庭といふ立場から選擧廓清の一端丈でも、十分留意して盡したいと思つて居る次第なのです。

世間から見て隨分緣遠い樣に考へられて居る政治、其政治界の如何に腐敗墮落して居るかは、私共が昨年中、全精力を

擧げて反對運動を續行した飛田問題に就ても十分知り得たのであります。尤も其以前に於ても、幾分かは政治界の事情に就て、知る點があつたのではムゐますが、該問題に際會して尚一層其間の事情等を呑込む事が出來ましたと同時に、實は今日の政治なる者が、理想といふやうな者がなく、隨つて確乎たる主義主張の下に、自己の意見を完全に發表し實現せやう杯と考へて居られる人達は餘り多くは無いやうに見受けられました。

□公平にして主義ある人

併し其觀察は極めて一般的でなく、如斯も或る一部の方面には在るだらう、杯と仰言る方もありませうが兎に角私共の近接した多くの政治家中にも、國家百年の計などといふ立派な理想の下に、奮鬪努力して居る方は餘りないやうでした。斯る腐敗分子の混入せる政治界が、果して國利民福を眞實其誠心から基礎といたし、議會に於て論戰し得るでありませうか。私共は少くとも其間疑問を挾みたくなると同時に、此儘に放任するが如き事であつたなら、何處迄墮落して行くか、其詰る處が到底臆測だも爲し得ない事に違ひないと思ひます此點に就ては、今更私共が申す迄もなく世の識者の方には、大抵既知の事と思はれます。政治家は自己の懷算段的に其地位にあらずして、飽く迄公平なる而して主義のある人であり度いものです。さもなくて到底多くの人々に心からの滿足を與へる事は絕對に不可能であると思ひますから、是非共候補者も有權者卽ち投票者も、お互に其決心と覺悟が必要と思ふのであります。

最初の婦人參政權示威運動（千九百六年トラフアルガースクエーアに於て）

□人の良心を如何せん

從來總選擧のある其度毎に、多數の選擧違犯者が出ました。而して其大多數は其當時に於ける政府反對黨、卽ち野黨に屬する候補者並に運動員であつたといふ事であります。新聞雜誌を之を評して『例の政府の干涉』杯と、極めて茶飲事に觀て居るので總選擧と謂へば其處には必ず政府の干涉といふ附言が浮ばれるといふ狀態なので、今回も議會解散當時既に新聞杯では、盛んに書き立てたやうでありましたが、私共は政治家ではムゐませんから、現政府が何れ丈手嚴しく干涉をするのか薩張判りませんが何でも人の話を聞くとつい近頃東京市中の公番の側や、寄席劇場其他出入頻繁な處へは、大概貼附けてあるといふ、新聞紙二倍大の『選擧の心得』の印刷物は、一面に於て從來選擧違犯者の多きに鑑みて、豫め注告して置く必要があるといふ考へから、政府は十分氣を利かした方法とも見へますが、其實干涉といふ意味が立派に

含まれて居るやうにも思はれます。それ許りか如斯手段は如何に國民が無自覺とは云へ、余りに侮辱するやうな、國民の良心といふ者を少しも認めて居ないやうな嫌ひが無いでせうか。

□惡を矯めて善を積め

申す迄もなく、人間の良心といふ者は、之を倍養する事に依つて益々其人の道德の向上となり、延いては國民道德の向上に及ぼすのは當然でありますが、是と全く反對に何處も人間の良心を認めずして、劣情のみを攻立る事は、却つて反感を惹起さしむる許りでなく、遂には良心の痲痺するに至りて益々救ふ可からざる殆ど動物的人間社會に、陷つて了ふやうな事になるのを私共は怖れて居ります。だから惡を攻める一方、必ず善ある事を十分納得せしめて、双方より人の良心を向上させる様力める事が最も肝腎でありますから、此理由から『選擧の心得』とかいふ廣告紙片や、其他の小冊子等を、殊更莫大なる經費を要して迄も、人の良心に對する反感を誘致するやうな手段を執る事は少しく考へたい事柄だと思はれます。

□良心の發露が最高理想

斯く論じ來れば何時の總選擧に限らず、政府は勿論、候補者有權者等皆悉く自己の良心に訴へて、事に衡るといふ覺悟あるに於て初めて、從來の惡弊を一掃する事が出來やうと確く信じて居ります。而して其處に理想選擧が行はれ、軈ては公平なる主義の有る候補者が續々と現はれ、最も眞面目に國政に參與し、絶大の理想の下に益々我國家の幸福をして茲に產出される事であらうと考へます。

＝□□ 編輯の塵 □□＝

▲時折、思ひ出したやうに編輯室へ遣つて來ては、明快な、そして重みのある語調で、周圍構はず縱横無盡に吹いて吹いて吹き捲くるに非ずんば、歇まざる體の一老紳士がある▲何にか時事問題が勃發すると其度毎に遣つて來るので「もうお出でになる時分だが」抔と、噂し合つて居ると噂すれば陰指すの譬へ、ガツ〳〵といふ靴音、入口の扉に向ふから「如何したんだい!!彼の事件は!!」といふ調子▲サア愈々御參なすつたと挨拶すると、開口一番「彼の△△事件は、一體如何するんだい」と、さも本會が其事件に何等か關係でもあるかのやうな物腰、初めての訪問客抔は何事が惹起つたかと、眼を丸くして周章てゝ逃げ出す騷ぎ▲當方から何とも申上げぬ内に、もう滔々十數言、其場合知らぬ存ぜぬ抔と言ふものなら、夫れこそ益々旺んに薙ぎ立て廻す、イヤ出るは〳〵立板に水とは斯くやと許り獨問孤答、我々は無暗に口を開いて只茫然▲扨て言ふ丈の事を言つて了ふと、ハアハヽヽと豪傑笑を後にしてさつさと出て行つて了ふといふ蹤梅。此老紳士こそ、元東京市辯護士會長たりし松尾清次郎氏其人である▲此間も芳川新夫人の一件やら松方の内大臣候補に就て氣焰を上げに來たが、其際次のやうな句を認めて置いて行つた。

老健　　松尾敬天

余原滬華一貫生
追想波瀾風雨迹
朱紫樓門豈唯富
春陽爛熳花草穠
天地萬物本一體
無限天祐及吾老
日夜勤勉唯待命

單身獨步入帝京
窮達加損夢始晴
陋巷戸屋却干城
秋陰錦繡霜葉清
人間何要麒閣名
元氣充滿心快明
余原滬華一貫生

統計上より觀たる婦人の犯罪（二）

内閣統計局統計官
慶應大學教授　横山雅男

第四は年齢である。元來此年齢と犯罪とは極めて密接なる關係を有するもので之を百分比に就て觀る時は、男子の最も多きは四十歲未滿であつて三一・八を占め、次が五十歲未滿で一八・〇、卅歲未滿が一七・九、廿歲未滿が一四・六、六十歲未滿が七・七、七十歲未滿が二・六、十八歲未滿が二・二といふ割合を示して居るが、婦人にあつても同様に其最も多きは四十歲未滿で、即ち二七・二を占めて居る。次は五十歲未滿で二二・二、六十歲未滿が一三・七、卅歲未滿が一一・二、廿五歲未滿が一〇・七、七十歲未滿が六・一、廿歲未滿が三・八である、

□斯く男女共其割合を觀れば卅歲以上‖四十歲未滿が最高を示して居る譯で□

第二も同じく男女共に四十才以上五十才未滿であるが、第三は男子にあつては二十五才以上卅才未滿で、婦人にあつては五十才以上六十才未滿といふ事になつて居る。

更に之れを男女合せて未成年者、壯年、高年、老年に分類する時は廿五歲以上四十歲未滿が六二・九で、四種中一番強く働いて居る。第二は五十歲以上七十歲未滿の高年で、第三は未成年即ち廿歲未滿が七・一、次は老年の七十歲以上で三・三といふ割合である。だから孰れの方面から觀るも犯罪の多きは、活働の最も盛んな、元氣の充溢して居る青年並に壯年時代に極めて多いといふ事が判る。

次に婦人のみに就て其割合を觀る時は十四歲以上十六歲未滿が一一・五、十八歲未滿が九・三、廿歲未滿が七・六、廿五歲未滿が六・三、卅歲未滿が五・五、四十歲未滿が七・四、五十歲未滿が一〇・〇、六十歲未滿が一三・八、七十歲未滿が一一・九、七十歲以上が二一・〇で、

□婦人は男子と反對に年齢の長ずるに‖從つて犯罪率が益々高くなつて來る□

此原因に就ては前號に於ても其大略を述べた處であるが、茲に最も注目す可き事は十四歲以上十六歲未滿の幼年者の割合が高いといふ事である。何故に斯く多く數字を示すに至つたものであるかに就ては、種々の方法に依つて調査せねば其原因を尋ぬる事は能ないけれども、要するに驚く可き現象と謂はねばならない。

第三は族籍の關係であるが、百分比に於て士族の婦人にあつては六・五で、平民の婦人は八・五といふ割合を示して居る。蓋し平民に其割合の高いのは士族の人口より其數遙に多いからである。加ふるに士族にあつては未だに昔日の武士氣質が殘つて居て『武士は食はねど高揚子』

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

といふ、一種動かす可からざる氣骨のあるが故ではないかとも思はるゝ。

□然るに平民の婦人にあつては比較的‖
‖さういふ氣質が缺けて居る婦人達が多い□

から、如斯數字を示すのであると考へる事が能る。今士族と平民との犯罪總數並に其男女を區別して觀るに

族籍		士族	平民
犯罪總數		一、六六四	九三、一四九
內譯	男子	一、五五六	八五、二七六
	婦人	一〇八	七、八七三

といふ割合で、孰れの方面から觀ても士族の犯罪數は平民の夫れに比較して雲泥の差がある。寔に興味のある現象ではあるまいか。

次は犯罪の月別である。何事によらず凡て氣候といふ者が大なる關係を有する事は今更謂ふ迄もないが、犯罪動機の研究に就て觀るも如何に其關係の密接であるかゞ瞭然である。即ち百分比例を以つて示す時は

月別	男子	女子
一月	一四七	一五二
二月	一三六	一三四
三月	一〇一	一一九
四月	一〇〇	一三二
五月	九五	一〇四
六月	七九	八三
七月	八三	八一
八月	九九	七八
九月	八七	七〇
十月	八四	七九
十一月	八二	七四
十二月	一〇七	九四

之に依つて觀る時は、一年を通じて夏秋兩季は男女共甚だ犯罪數が少いけれども、十二月より一、二月は其反對に割合が高い、就中一月の最高を示す原因は、即ち

□舊曆の歲末に相當し從つて生活上から‖
‖來る處の財物に關する犯罪數が多い□

からである。

更に之を春夏秋冬に分けると、賭博富籤に於ては男女合せて春が二四・一、夏が一七・二、秋が一七・九、冬が四〇・八

鄕清瑣談

△隨分物事の解る紳士でも、何うかすると未だに低級な迷信に捉はれて朝夕火打鎌をチャキ／＼と打鳴しながら座敷中を片端から拜んで歩く者もあるが、玆には夫れと少しく趣の變つた類のない話がある△先達の事。愛知縣津島町では高等女學校の位置問題でズツと以前から兎角の紛擾を重ねて來た△此では何時迄經つても解決が付かないからといふので、合議の結果、郡長の指定に一任する事になつた△處が愈々其蓋を開けて見ると此は意外!! 頓でもない方面なので、之も遂に反古の憂目といふ事になつて了つた△サテ斯うなると、何うにも斯うにも方が附かない。如何した者かと、有志連が鳩議熱慮を重ねる事數回、其間隨分紛めに紛んだが、何としても埒が開かない△斯うなつたら我々の力では何うする事も能ないから、一層の事、津島神社の御神紙に依つて決める事にしやうじやないかと、或る一人が言へ出した△すると他の人達は地獄で佛といふ生氣に返つて、喜んだり嬉しがつたり、早く斯ういふ妙案が何故浮かばなかつた抔と、愚痴だら／＼泣言をいふ者抔もあつた△其處で早速、各方面から持出した、三ヶ所の候補地名を神前に捧げ、町長初め町會議員其他の有志の方々が、一同羽織袴の禮裝で恭しく參拜し、神意を伺つた處が、津島町小沼口といふ地名が神籤に現はれたので、早速それに決つたといふ。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

で、冬期から春に掛けて最も其割合が高い。といふのは、何れも家屋内に蟄居して居るので、自然手持無沙汰になる結果勢ひ如斯現象を呈して居るものと思ふ其他に歳末の關係も多少あるが、要するに賭博富籤の罪は夏秋季が反對に少ない事になつて居る。

然るに殺人犯にあつては大正四年に於ける一ケ年間の割合を觀るに、春は二五・八、夏が三一・三、秋が二四・三、冬が一八・六といふ割合で、卽ち財物等に關する罪は冬季に次で春が多いのであるが殺人犯にあつては夏秋が多く、財物に關する犯罪は春冬に多い。氣候と犯罪の關係は如斯極めて密接な者がある。此現象は獨り我國許りでなく、世界各國の統計に依つて觀るも同一なのである。

次に信教上より觀れば、百分比に於て婦人の割合は、神徒が四・八、佛教が五・二、耶耶が三・六、無宗教六・二である。宗教と犯罪との關係は寔に深甚である事は我々の既知して居る處であるけれども之程迄其差が甚しいとは思惟しなかつたのである。

□精神上に何等の支配なき無宗教者——の犯罪割合は隨分高率を示して居る□

次は敎育の方面から觀るに、百分比に於て中等敎育を受けた婦人は一・三、其次に位す可き者が二・九、讀み書きの出來る程度の者が四・三、全く無敎育の者が二二・四といふ割合である。今更敎育の有難さを感ずる譯ではないけれど、實に敎育の有無は人間をして理知の判斷を完不完の境遇に置く事が此一事に依つても一目瞭然である。返す〲も敎育の大切なる事を茲に記して置く次第である。

次は資産上から觀ての百分比であるが、謂ふ迄もなく犯罪の半以上は物質の窮乏といふ處から其動機が起つて來るものであつて、卽ち有資産の婦人にあつては三・五であるが、漸次無資産に下るに從つて犯罪數が增加して行く、卽ち次の稍有資産が四・一で卽ち六丈多い。更に無資産に至れば六・六で、第一の有資産より多き事三・一、殆ど二倍の數を示して居る。尙更に赤貧洗ふが如き其日暮しの階級者が犯す數の割合は七・九といふ多きを示して居る。

□昔からよく「貧すれば鈍する」といふ——諺があるが全く旨い事を謂つた者□

で、貧者の階級程鈍する者が多いといふのは、彼の有名な佛蘭西の文豪ユゥゴーの謂つた『畢竟彼は飢えたれば也』といふ處から出發して居る事は爭はれないのである。我國の諺に『飢に腹は代へられぬ』とは實際の眞理で、社會から此貧といふ事を若しも取り除く事が出來たならば、定めし此犯罪も減少するであらうと思ふ。併し夫れは理想としては仕極結構であるが、實際に當つて此社會から貧者を取除く杯は、言ふ可くして行はれざる事で、寧ろ空想であるが、只貧より來る犯罪が最も多いといふ證左を示して、社會の識者の參考に提供する次第である。

扨て之迄は犯罪に就て種々の方面から觀察した。今度は犯罪統計の骨子である處の、何故彼は犯罪を敢行するに至つたかといふ其動機に就て述べて見やうと思ふ。男女共百分比にて示す時は

種別	男	女
利慾	四三、〇	三六、二
射倖	一四、三	二〇、一
習癖	一二、七	八、六

□私の健康法

矢島楫子

□健康を保つ上には、最も精神の集中が有効でありまして、私は何時でも病床に在る時、今日は熱が發たと思ふ時は、其の集中力がいつも亂れて居るのを發見します。もし此の精神集中が、絶えず行はれるやうになれば必ず

□病氣を知らずに癒す事が、出來やうと思はれます。

□今日の人は餘り藥や醫者に賴り過ぎて、却つて大事な治療法を考へずに居る場合が多いと思はれます。

□元來藥は腦に利くものは胃腸に惡く、胃腸に良いものは腦に惡いといふやうに身體全體に亙つての藥でないのは多くの人の知つて居る處であります。

□これからの醫術は、成るべく藥を餘計用ひないで、治す方法が考へらるゝ筈であります。

□醫者は、また他人の身體を診斷するのに全く誤り無きを保證する事は出來ません。自分の身體を知る者は、自分に勝る者はありません。

□そこで精神集中で、病氣を治する事は、如何に有効であるかは、私の實驗によつても、證言が出來ます。

□私は大抵の場合、病氣も藥無しで治療して終ひ、八十五歳の今日迄、背も曲らずに健康を保つて居るのは、日常の精神集中が與がつて力ある事と思ひます。

社會道德の不健全、國民の精神、思想の不健全等に對する治療法も、其の根本に溯れば人々の身體健全に歸するのであります。人は何人も病ひ無きを得ぬものでありますが、其の病ひを治するに當つて、今日一般に行はれて居る醫藥の如き姑息な方法を用ひずして我が身體を知悉し、自然の法則に從ひ、自ら身體を支配する道を覺えて終へば、根本的に健全の道は生れて來るのであります。さうすれば精神集中によつて熱を左右する事も出來、循環が惡いと思へば、マッサージを以て其の血行を癒すこと等、理論的に身體を扱つて行くことが出來、健全なる自然の人體は、餘り病ひに陷る事なく、過すことが出來ます。

出來心	八、二	一三、〇
貧困	五、二	六、〇
憤怒	四、九	—
遊蕩	三、一	—
懶惰	二、二	—
疎虞	—	二、五
痴情	—	一、八
虚榮心	—	一、六

觀之、男子にあつては私慾、射倖、習癖、出來心、貧困の五種類を合せて八三・四といふ割合であるが、一方婦人にあつても同じく其五種類を合せて八二・九で男女共に犯罪の原因が此類から起るといふ事が判る。

□只出來心の一つに就いて觀る時は男子——は第四位で婦人は第三位に有といふ□

事のみで、其位置を入替えた丈の事である。就中一、二、三番は實に犯罪に大なる勢力がある。

又百分比に於て男子に對する婦人の割合を觀るに、最高は虚榮心であつて六二・七、第二が家內不和で二六・一、第三が痴情に關する者で二一・七、家庭不良が二二・七、嫉妬が一八・六といふ事になつて居る。特に婦人が虚榮心の爲に男子

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に比較して二倍の犯罪力を持つて居る事は、寔に物凄い現象であると同時に、余程此點に就ては注目す可き幾多の原因があると思ふ。而して前述の如く無教育者が此犯罪を爲すといふのみに止らばまだしも、加も近來此虚榮心から殆ど無意識的に萬引を働く貴婦人が遇々あるといふ話を聞いた事がある。嘗て某所の女子師範の女教師が三越で萬引を働き、刑事の目に觸れて一頻り社會の問題になつた事があるやうに、相當教育のある婦人迄が萬引を敢へてするといふやうな事に就ては、余程社會が研究せねばならない點ではあるまいか。

□要するに何れの方面から觀ても我國——婦人の犯罪數は外國に比して極めて□

低いのである。蓋し其原因には種々あると雖も第一婦人には恥辱の觀念の強い事と、第二には從屬的位置になる事と、第三萬事控へ目にする事と、第四は體力の薄弱、第五は社會に有する問題に觸れる機會が極めて少ないといふ事に歸着する者と思ふ。然るに現在の我國は歐米各國に於ける主張が大なる勢力を持つて、益々社會に浸潤しつゝあるから、婦人も勢ひ智識の進歩に伴ひ、社會に相當の位置を占むるに至り、自然活社會に乘出し活動するやうになるであらう。されば其處には犯罪も從つて多くなる事は疑ふ可らざる事實であると思ふ。

併し如何樣に社會が變遷され、我日本婦人の地位が高まると雖も、歐米の夫れの如く甚くはならぬであらうと思はれる。何故なれば前にも述べた如く。

□我國の婦人には他國に觀る事の出來ない——一種の美點があつて其美點は社會の□

進歩發展と共に、殺がれて行く可きが當然なのである。歐米の文明國が夫れであるが、我日本の婦人にあつては社會が進歩するに從つて益々犯罪數が減少して來るといふ、宛然反對の現象を呈して居るやうな次第である。此美點をして是非共永久に保存益々培養しなくてはならない之れが婦人の向上に關して相並行し進むに依つて理想の婦人を生み出す許りでなく、社會に及ぼす影響は今更喋々する迄もない良結果を齎する者である。於茲初めて人類社會の眞の幸福の端緒を見出す事が出來ると思ふのである。

以上述べた處の引用せる統計は大正四年一ヶ年間の者であるから、凡ての事項に對して結論を與へる事は到底出來ないのであるが、之に依つて婦人の犯罪を研究する參考の一端ともなりば甚だ余の幸とする處である。（完、文責記者）

益富理事を送る

本會理事益富政助氏は、いふ迄もなく本會をして今日あらしめた人で、其社會事業家としては、基督教界人多しと雖も先づ指を山室軍平氏と、益富氏とに屈せない譯に行かない。或は留岡氏の如き原氏の如き、遙に先輩があり奥行の深い人もあらうが、其間口の廣大にして、如何なる事業をもコナす能力に於ては、實に一種の天才である。其の主として經營せられつゝある鐵道青年會の尨大なる、其發達の急速なる驚歎すべきものがある。

然るに氏は今回米國に開かるゝ鐵道青年會大會に我國のそれを代表して出席せんが爲め、四月十二日を以て横濱を立たれる筈で、到着の上は餘力を以て我が廓清會の爲にも奮闘せらるゝ豫定である。されば吾人は茲に同氏の健康と旅程の平安を祈り、更に歸來の御活躍を囑望する。

山室大佐を送る

本會評議員山室軍平氏の事に就ては今更蛇足を加ふるを恥づる。氏は來る廿四日軍務を帯び渡英の筈である。吾人は茲に神の御恵みの氏の上に裕ならん事を熱禱す。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

青年と性慾

醫學博士　藤浪鑑

□性慾は自然なり

青年と性慾。是程關係親密にして且其勢力の旺盛なるものは他にあるまじ、『陽氣發處 金石亦透』と云ふ如く、新に噴火したる人間性慾の動くところ、殆ど何物も之を止め能はざる有樣なり。我國には戀と云ふ言葉あり。屢々絢爛たる文采もて品良く體裁好く飾らるゝも、其根本たり中心たるものは如何にしても性慾なり。諺に云『止めて止まらぬ戀の道』或は云『戀で通へば千里が一里』と。恰も、奔馬疾驅、川も溪も物かはと云ふ狀なり。此の性慾を中心とする者の勢力が旺盛激烈なることは、古今も東西も人情の同じきところにして、而かも此性慾や、直に人心の極の自然より出でたるものなり性慾が青年に於て最旺盛なる如く、性慾は青年に於て最自然なり。青年は人間一生の中に於て恰、陽春三月の時代とも謂ふ可し。動物にして自然の兒たる人間が、此陽春三月の時代に於て、草木の花自ら開く如く、鳥獸の自ら相呼で相戯る如く、盛に性慾の發動を見るは、當然の事に非ずして何ぞや。若、此事無くば其人は病的の人なり。玉の杯、底無き男なり。

性慾は人間に於て天與の利刄なり。此名刀の切れ味は青年に於て最も善きなり。青年が之を用ふるは彼の自然の權力なり。而て之を善用すれば、己を利し社會を益し又子孫後世の幸福を來し、之を惡用すれば、己を害し社會を毒し又子孫後世の禍殃を遺す。こは全く明白の事理にてあり乍ら。己の所持せる名刀利刄の爲に却て己の身を傷くる青年の世に多きは誠に寒心に堪へざるところなり。是、果して何の故ぞや。嗚呼青年よ青年よ、汝、性慾を奈せむとするや。性慾よ性慾よ汝、我青年を奈せむとするや。

□性慾とは何ぞや

性慾は如何にして生じ、又如何なる意味のものなるや。性慾は身體の生殖機關の發達と相俟て發生するものにして外部生殖器及び内部生殖器、殊に生殖腺の發達すること卽、(男子ならば)睪丸に於ける生殖細胞卽精子の生成、並に其射出の機關作用漸く完備することにつれて、所謂『思春期』の境に入り、其後も永く其狀態を繼續す。而て人生に於ける嚴冬の候にも比す可き老年に入りて、上述の身體機關漸く萎衰すると共に、流石の性慾も終に减退し消耗するものなり。性慾が此生殖器殊に生殖腺卽睪丸の働と密着關係を有することは爭ふ可くもあらず。卽、生殖腺の分泌物(精液)

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

か一種『內分泌』(分泌物質が血液に入りて、他の臟器組織に働を及ぼすこと)と見る可き働をなして、性慾發動に與て力あることは、敢て之を疑ふに及ぶまじ。精液長く儲留鬱積する場合に性慾高まり、精液漏出の後に此慾沈降するの事實は、此の推理を助くるものと謂ふ可し。

然れども性慾を以て、直に全然生殖腺の作用なりとのみ考ふるは其當を得たるものならず。人間にても獸類にても生殖腺除去の後は此性慾消滅するやと謂ふに、敢て然るに非ず。睾丸剔出の後と雖、性慾の發動は尚止むこと無し。生殖腺のみが性慾製造處若しくは性慾誘出機關に非ることは、性慾の發動に就き腦髓の働の偉大なることによりても之を知り得可し。腦髓の何處かに性慾中樞と云ふ可きもの在りと想像せられざるに非ず。生殖腺の內分泌作用によりて、此腦髓の中樞が刺戟を受け感應發奮すると云ふことは、固より有り得可きこと乍ら、又人間は單に一の觀念によりて此中樞の興奮を起さしむ可きなり。性慾の發動に對し人間腦髓の作用與て大に力あること、實に頗る注意す可き大切の事柄なり。

性慾と腦髓作用とが親密の關係あることは、是れ吾々人間の如き自然的に靈妙複雜なる腦髓作用を有するものゝ己の性慾を取扱ふに當り、特に留意せざる可からざる自然の約束也とも謂ふ可し。而かも上述の如く性慾が生殖機關の作用と離る可からざる因緣を結べることは、亦固より明々白々なり此生殖機關の役目は何なるや、そは謂ふ迄も無く『生殖』の一事に在り。性慾の極致性慾の自然的目的が亦生殖の一事に在るは、固より爭ふ可くも無し。

□性慾の目的は生殖なり

此性慾の極致とも又目的とも謂ふ可き生殖の一事は、總の生物に於ける最重要なる生活現象の一にして、生物は唯之によりて、己の種族の絕滅を防ぎ、又其蕃殖を圖るを得るなり。總の生物に自己保存慾ある如く、不知不識の間に、亦種族保存慾あり、卽、生殖慾あるなり。

吾人一たび此生殖の生理を知るに至らば、如何に造化自然の手の靈妙精巧にして其不可思議力あるに驚嘆するを禁ぜざる可し。人間に於ける生殖は實に一の男性生殖細胞と一の女性生殖細胞とが結着合一することによりて行はる。男性生殖細胞は男性生殖腺にて完成せられたる精子、女性生殖細胞は女性生殖腺中に熟したる卵子なり。兩者が其生殖作用を營み得る資格を作る迄には、各其腺中に在て準備に準備を重ね用意用意を積み、然る後に彼等は出動するなり。されば彼等は人間社會の未熟なる輕佻男女が、何等の用意も準備も無く浮氣のまに〳〵行動するが如きものにて非ざるなり。又男性生殖細胞は無數に排出され乍ら、之に合ふ可き女性卵子は唯一なり、是仲々娘一人に婿八人どころなる輕易なる競爭に非ずと云ふ可し。其無數の男性細胞の中にて、よく此競爭場裡の勝利者となりて眞に女性細胞と結着するものは唯一個のみなり。吾人此吾々の生殖細胞の行爲を觀るに、眞に堂々たるものあり。彼等は準備を遂げたる後に於ても、尚競爭あり努力あり、撰擇あるなり。薄志弱行的の人間が落花流水的に野合するが如きに非るを觀る可し。加之、兩性細胞が相結

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

合するや、其卵子はもはや、己の周圍に狂ひ集れる他の男性精子の入ることを嚴格に謝絕し、一の卵子と一の精子との眞に一身同體となることによりて、宇宙の大業なる生殖の務を始め、又之を完成するなり。實に彼等は明に貞節ある一夫一婦主義を行へり。且此際兩性の細胞は各全然同等の成分同等の資格を以て相合體するものなれば、彼等は人間社會にて男尊女卑や女尊男卑など、男女の罵り合ひ噪ぎ合ふを笑ふなる可し。斯くて兩性細胞の合體によりて生殖のこと成立し、此合體の一細胞が無量の『エネルジー』を藏蓄し又之を開展し、千變萬化など、云ふ形容にてはとても形容し盡さゞる生長發育を遂げ、終に一人前の人間が出來上る其道程を追縱すれば、吾人は自然の靈妙さ精巧さに驚嘆する外、更に又茲に如何に多くの秩序あり努力あり又倫理あるを看取す可きなり

□性慾は如何なる慾か

此生殖なる自然の大業を成すことは、確に人間性慾の極致なり又自然的目的なり。性慾の發動に由る行爲によりて實に此大切なる生殖は營まるゝなり。此大切なる生殖の一事が人生に於て如何に大切なるかを思へば、單に是のみより見るも人は如何に性慾を取扱ふに愼重ならざる可からざるやを知る可し。

然るに人生・人體には多くの缺陷あり矛盾あり。此缺陷と矛盾とは亦此性慾の領域に於ても現はる。性慾は人間の生殖を遂げしむる根本的自然的目的を有するものなるに拘はらず、人間に於ては生殖の慾と全く懸け離れて性慾ある有樣なり。人屢己の意馬の狂奔に任かせ性慾の發揮を縱にし、之が爲に其根本的自然的目的なる生殖のことに從ひ來らば、却て之を厄介視し、甚しきは重大の犯罪行はるゝに至る。又然ざるも、一旦生殖のこと成就し（姙娠）、性慾の自然的目的既に達せられたる後に於ても、其人間は尙己の性慾の發動發揮を禁じ得ざるなり。此點に於て街頭の狗は人間よりも遙に行儀良しと謂ふ可し。人間は誠に放埒なる動物なる哉。

此議論と慷慨とは今姑く之を措くとして、青年實際上の問題には『生殖』を離れて『性慾』を觀察せざる可からず。

性慾は如何なる慾を意味するやと謂ふに、之には種々の慾或は感情が包含されたるものと見ざる可からず。之に關しては學者間の見解必しも一致せず、例之、モル氏の如きは性慾は『緊張解放慾』と『觸接慾』とより成ることを謂へり。又之に對して異議を挾める學者もあり。余は今茲に之を一々羅列するの要無しと思ふ、性慾は其中に異性觸接慾、摩擦慾等をも含み又視官、嗅官の感覺等も伴ひ、元來複雜なる內容を有す。而て就中、最も重要なる奧義は特殊の性的快感を獲得せしむとするにあり。此感の獲得は性慾に於て其核心をなすと稱し得可く、又此感には一種『緊張の解放』を伴ふものなり此『緊張の解放』は即、生殖腺分泌液の射出を意味し、是、直に生殖作用に於ける重要の第一歩をなす、性慾の自然的目的が生殖に在るは之を見て亦明なり。然れども實際、生殖を離れて尙性慾あり、而て性慾は種々の慾或は感情の綜合にして、人間に在ては純精神的感情も亦其中に存して、是亦輕からざる地步を占むるものなり。性慾の眞正且十分なる滿

足と云ふことは、是等總の欲或は感情を滿足せしむるに非ればば不可なり。世に性慾の滿足と稱するもの、必しも常に眞正十分の滿足と云ふに非ず。性慾の滿足亦必しも容易なりと謂ふ可からず。

□滿足の方法と其利弊

性慾の滿足。誰か之を容易なりと謂ふや。男子若、其生殖機關完成したる時期に於て、皆直に其配偶を得、婚姻を結び婚後善く性慾の衞生守られなば、天下は誠に太平なり。鼓腹擊壤の民は斯の如かりしなり。日出而作、日入而息、鑿井而飲、畊田而食ひたる堯舜時代の人の子は斯の如くにして幸福なりしならむ。

人間の文明進み、世上の事業復雜となるにつれ、或る社會階級の青年男子は最早、斯く太平樂に非る境遇に置かるゝに至れり。彼等身體の生殖機關は完成し、其性慾は張り切る許に發動す、然かも彼等の境界は彼等をして直に君子の好逑を得るを許さしめず。是に於て彼等の寥寂の感に打たれ、悶々の情に苦むなり。輾轉反側して寤寐安からざるなり。嗚呼此寂寥の感と悶々の情とを奈せむや。

是に於て性慾の發動のまに〳〵、之を滿足せしめんとするの行動は、屢配偶無き青年の間に行はるるに至る。彼等は果て之によつて眞に彼等の性慾を滿足せしむるを得る乎。彼等は恐らく之を知らざる可し。唯彼等は能て己の性慾發動を抑制する乎、然ざれば唯此行動を取る乎の外、他に其途を知らざるなり。即、一、手淫、二、私通、三、賣笑婦に戯るゝこと是れなり。（四、其他、病的感情若くは汚穢なる惡習慣に因る同性間の不良行爲に就ては今日之に說き及ぼさゞる可し其不自然・不衞生・不倫理なるは謂ふ迄も無し。）以下之に就て一言す可し。

一、●手淫●上述の如く性慾は種々の欲或は感情の綜合なれば、此方法は決て十分なる性慾滿足の道に非ずと謂ふ可し。手淫は性慾に起因する弊害中、最廣く青年間に蔓延せるものにして、種々の社會階級又種々の人種を通じて行はる。猿と雖も手淫を行ふことあり。飼養せらるゝ猿が時に盛に之に耽り、爲に身を亡すに至ることありと云ふ。手淫の害毒は人の多く知るところにして、其過度なるに至ては終に身神の衰弱を來すこと復疑ふ可くもあらず。手淫の害に就ては醫家により之を頗る重大に見る人と、比較的輕易に考ふる人とあり。よし甚だ僅少の度數のもの未だ直に甚しき惡結果を來すこと無きにもせよ、又時として青年の手淫の爲に甚しく神經を衰弱せしめたるものが、其手淫其物の結果と云ふよりも其害を恐怖するの一念に因る方多き實例あるにもせよ、手淫は屢、習慣性をなして過度に陷り易く、又他人に此惡癖を感染せしむるものなれば、初めより此惡癖に染まらざるやうに注意するを要す。若しくは將來に於て此惡癖を遮斷するやうに意志の力を固くす可し。泰西の學者中（例之、ベルケル氏の如き）、若き男女は殆、總て皆手淫をなすものなりとさへ言へるものあり。余は特に「手淫」と名づく可き行爲をなす惡習に染まらざる青年が我國に於て必ずしも甚しく稀有に非ざるを信ずる理由あり。手淫が青年社會に於て頗る流行せる

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ことは、事實なりとするも、青年が必ず此惡習に染まらざる可からずとする理由は毫末も有らず。且手淫が性慾の滿足を十分ならしむる資格無きは前にも述べたる如し。而かも此愚なる擧動を取りたる報酬として青年身體の健康上に及ぼす不良影響の外に、己の劣情に克つ能はずして空しく其奴隸となりたりと云ふ悔恨は、多少にても思慮ある青年ならば、永く其心を惱ます基となる可し。

二、●●私通。此問題に就ては、私通と正當なる結婚とは如何なる相違ありや、如何なる結婚が精神上又肉體上最望ましきやと云ふことを論ぜざる可からず。又其議論は、頗る廣汎なる內容を有し、倫理觀の如何によりては、隨分色々の說立てらる可し。余は今之に立ち入る時間無きによりて、此議論をなし能はずと雖、親しく知れる諸多の實例に徵すれば、自由戀愛など丶綺麗に詩的に謂はれてゐる、事柄の發生は、其多は、思慮ありし結果に非ずして輕卒なりし爲に、沈着・剛毅眞勇の精神より出でたるに非ずして浮調子なりし爲に、責任を重ずる心の產物に非ずして無責任なりし爲めに、結婚は如何なることを以て自己の爲め又社會の爲に其要約とす可きやと云ふ見識を以てするに非ずして唯無分別なりし爲に、又唯盲目的刹那的利己主義なりし爲に因るなり。因果應報は或は覿面に來り、然らざるも必ず將來に於て見らる丶ものなり。一時の輕擧の爲に可惜有爲なる青年か、身體精神の向上發達を挫折せられ、金玉を空しく泥土に委ね去りたる實例は、誠に枚擧に暇あらず、痛嘆又寒心の至りなり。白樂天の女兒の淫奔を戒むる歌に『井底引銀瓶』あり。浮氣娘が青梅を弄し短牆に憑り、浮かれ青年が白馬に騎て垂楊に傍ふとき、馬上と遙に相顧み、玆に性慾の感應ありし結果、其女は男を慕ひ奔て其男の內緣の妻となりたり。揚句の果て、不幸なる其女は恨悔し告白して云ふ『爲君一日恩、誤妾百年身、寄言癡小人家女、愼勿將身輕許人』と。之は少女の爲めのみに非で、性慾の爲に身を誤り易き青年の爲めにも同樣の誡なり。

三、●●●賣笑婦。青年が性慾の發動に驅られ、之を滿足せしめんとて、之が爲に備はれる機關に入り込み、金錢もて此滿足を買はんとするなり。果て十分なる滿足の得らる丶や否やは別問題として、彼等は之を得んと欲して金錢を費すなり。恰も料理屋に行くが如く、又有料便所に入るが如くに。

人之を以て需用供給の道理に因るとなす。方今社會の仕組は、男子の性慾を以て禁歇出來ぬものとし男子の婚姻以外の性交を以て止を得ぬもの若くは當然のことなりとなすに在るが故に、賣笑婦は到處に或は公認され或は默認されて群集し居れり。加之、彼等は頗る多數の場所にて公開せられ、絢爛たる裝飾は施され、歌舞音樂もて賑はされ、只管青年の情感を煽ぎ立てつ丶あり。京都市の如きに於て、彼等は堂々たる市のお座敷の位置に陣取り、媚びつ丶同時に又意張りつ丶あるなり。（つゞく）

◉婦人矯風會創立三十年大會

婦人矯風會は創立三十年に達したので、本年の二十五回大會を兼ねて一大祝賀會をよび矢島會頭の影像除幕式を、四月一日より四日にかけて行ふ害、詳細は次號。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

力を以て起て

文學博士　福來友吉

眞理の主張者は不體裁だの、氣の毒だのといふ事を考へてはならない、そんな事で生命の主張は出來るものでない。

我々は氣の毒だの何のといふ個人的の言葉を用ひてならない、正義といふものは氣の毒位の事で止められるものではない。氣の毒位で止める正義は正義ではない、それ迄徹底しなければ嘘だ。

眞理といふものは同情を求めるといふそんな受身のものではない。力でなくてはならぬ。同情は他人の所有で、どう變化するか分らぬ、眞理なるものは望むものではなくして厭も應も云ふて居られないものである、從つて眞理を主張するものが不體裁だとか、同情だとか、氣の毒だとかいふ事を考へてはならない。惡辣ではいかぬが辛辣でなくてはならない。

□　□　□　□

新しい女も大分下火になつて來た、雷鳥も子供を持つたが一體いつ迄あんな共同生活を續ける氣だらう、一時的のものなら流行にしか過ぎないが、恐らく一時の考だらう、今に變化するだらう、元來共同生活の理由は知らぬが、單に結婚形式を嫌ふ丈なら甚だ意味がない。どうせ日本の法律の下に生活しつゝ、法律上の結婚を拒んだとてそれが何になる。在つたとて邪魔にならぬ形式だから結婚してもよさゝうなものだ、紅吉や清子や雷鳥や野枝やの末路を見て世間も少しは考へてゐる樣に思ふ。要するにあれは過渡期の犧牲者とよい意味で見れば見られる。

□　□　□　□

一躰女といふと世間はあんまり持ち上げ過ぎるから困る。殊に女優といふものは近來人を魅する一階級となつて來た觀がある、女優といふと冗らないヘボでも甚だ持てる、藝術的に云へば木村駒子にどれ丈の價のあるか知らないが、藝術としてではなく、女だから見たがるのである。丹稲子の如きも要するに三味線の代りに筆を持つ藝妓に過ぎぬ。

實に女といふものは持てる、飛行機に乗らなくとも乗りたいといふ願書を出すと、もう名が廣まる、廣まると本人は忽ち偉い氣になる、子供と同じで自分の價も知らぬから世間が褒めると偉いと思ひ馬鹿だ〱といふと自ら馬鹿だと思ふ。男子としては何の價値もない程度の者が女だと無暗に持てる、實に女は幸の樣だ。

□　□　□　□

併し考へなくてならぬのは、其の持囃す處の者は、其人格を尊敬してかといふとさうでないのである、藝人として持て囃すに過ぎぬ、人格は寧ろ卑下して見てゐるのである、茲を考へなくていかぬ。

我等は世間に持てるの持てないの、そんな事は問題にしてはならない、私のやつてゐる心靈問題なども世間の不躰裁など考へてやられたものではない。日本の婦人はもつと信念を養つて毀譽褒貶などを氣にしない受身でなくて力を以て要求し得る樣にならなければいかぬ。さうでない間は矢張男性の弄び物となるを免れないし、人格的に生きて行けぬ。（談）

新入學に就て家庭に

高島平三郎

□　□　□　□

親として我が子を可愛く思はぬ者はない。けれども如何に可愛からとて、無茶苦茶な所謂向ふ見ずの可愛がりをしては適ない。從來の我日本に於ける、子に對する親の愛は隨分熱くそして深いものがあつた。其結果今日の如うな國運の隆盛を觀るに至つたのであるが、若し之れが反對に子を虐待しつゝ今日に及んだなら、我國は此程の隆盛を見られなかつたに相違なかつたと思ふ。今の野蠻國と稱せられて居る國は大抵子を粗末にして、少しも眞の愛を以つて養育せなかつた事に原因して居る。東洋が未だに歐米諸國のやうに發達しないのも、矢張り夫等の關係に據るものと思はれる。だから子を愛せぬ國は滅びるといふことが判る。

子は何處迄も愛を以つて養育せなければならないのは言ふ迄もないが併し愛と言つても、其人々の考へ樣に違ふものであつて無暗矢鱈に子供を舐め育てる許りが、子を愛する者だといふ考へを持つて居る者もあるが、私が現在いふ處の子に對する愛とは決して其麼ものではないのである。子に對する賞罰の方法を何處迄も誤らぬ樣な、愛でありたいものだといふのである。で今日は、小供が初めて小學校に入門する大切な場合に遭遇して居る時であるから、此際保護者として子に對する二三の注意を述べて見たいと思ふ。

□　□、　□　□

一體人間の生活といふ者は極めて一種不可思議な者であつて、宛然河原や田圃を逍いすると、何かしらチラ／＼と動いて居るものがある。彼の陽炎の如うな目に見えない處の、或者に自然の儘に引摺られて行くのが我々人間の生活であると思ふ。だから何時どんな災が押寄せて來るものか、或は幸福に際會する者か、殆ど我々の考へでは、此不思議なる人間の生活を推知する事は絶對に能ぬもので、之を物に例合へて見やうなら、或者に糸を繰られて居るやうなものである。從つて或時は赤、黄、白、黑其他樣々の色糸が、其繰られるに從つてグル／＼と現はれ出て來るやうな具合だと思ふ。だから茲處をよく呑込んで其場合々々に適應した敎へを子に施さねばならない事になるのである。

□　□　□　□

小供が初めて小學校に入學するといふ事は最も重大なる事柄である。丁度繰られた糸の結び目に出合したやうな者で、此場合は眞に未來の生活に取つて何よりも肝腎な時であるから、保護者たる者は十分留意する處があつて、子供の將來をして過たしめないやうに力めて遣らなければならない。

由來我々が一生を通じて入學といふ事は只の一度しかないものである。決して二度ある可き筈がない神聖な者である。或者は人生に取つての神聖なる事柄は、其他にもあるといふかも知れない。即ち結婚がそれであると。併し結婚の神聖なるは、我々の既に知れる處であるが、それが絶對に二度はない神聖な者だとは斷言が出來ぬ。殊に近來に於ける風敎抔は、小供が小學校へ入學するやうな眞實、一度しか無い至極神聖な者とは言はれまい。だから此一度しかない大切な機會に遭遇した場合、言ふ迄もなく保護者は重い責任がある、

□　□　□　□

人は何事でも、創造しては之を破壞し行く事、は何人も之を知る處である、此創造破壞は人生の性格をして種々な方面に導き、隨つて其動機に依つて性格が善良ともなれば、反對に劣惡にもなるのである。殊に小供にあつては社會一切の事物に、總てが目新しいから、何事に依らず珍しい。加之に精神の智識慾の旺な時代であるから、無暗に知りたがるのである。觀る物何でも關はず無茶苦茶に慾しがるのは即ちそれである其動機が親の敎へ方如何に依つて、善惡の習慣が付け

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

られるのである。そして小供は我々と違つて習慣が極めて付き易い者であつて、もの丶三日も或る同じ事を續ければ、最う一つの立派な習慣となつて了ふ。併しそれと同時に、又破れ易いもので、古人が「小兒は白糸の如し」とか「白紙の如し」とか譬へたのは此處を指した者である。親たる者は前の處を十分に注意して、出來得る限り善良なる習慣を貽すやうに力めて遣らなければならないと同時に、惡習慣に就ては如何なる犧牲を拂ふとも、之を排除するに飽く迄盡して遣る可きが當然であるから、子供が小學校へ入學する、即ち初登山なる者が如何に大切な事であるかは、右の事情から推知しても略想像が出來る。

□　□　□　□

昔は小供の新入學に際し、よくお祝ひをしたものであつた。倘其上保護者が小供の仲間入りをして貰ふといふ意味に於て、應分の物を持つて小供と同伴して先生にお願ひしたものであつた。時代の變遷は何時しか斯る事態も、其影を止めなくなつて、今日では僅に未開な地方に、其餘風が殘つて居るのみである。私の立場として何も物を持つて來いといふ譯ではないが、言ふ迄もなく新入學は小供に取つて大なる刺戟である事は、前にも述べた通りであるから、斯る機會に最もよい、り多く善き習慣を固く作る事にしたい。

世間でよく聞く事であるが、私の子供は家庭にあつては、家庭の人を困せる程腕白でお喋舌りで手の附けやうがない程だけれども、一度學校に行くとそれが何うした者か急に病人の如うに沈んで了つて、口さへも碌にきかぬといふ。又之れと全く正反對に家庭にあつては、碌に口もきかぬ小供が學校へ行くと、騒々しい程怒鳴り散らして先生が殆ど手古摺り、學校でさへ這麼に騒ぐのだから、家庭では嘸親達が持て餘す位であらうと尋ねて見ると、之は又案外にも同一の小供とは迚も思へない程大人數して居るといふ。其他種々、そんな奇現象に先生も保護者も眉を顰めて居る事が確にある。

□　□　□　□

右の原因は大概、入學の際に周圍の狀態から受けた刺戟が遂に深い習慣となつて了つた者である。そしてそれが啻に學校許りでなく、軈ては社會に出た後迄も尚ほ矯正されない者がある。是非共之は小學時代に矯正せればならないのであるけれども、若しそれが學校と家庭との連絡が取れて居なかつた場合は、在學中其惡習慣を發見せずして終るやうな事がある。だから入學の際は余程注意して、學校も、先生も又其他の事物に就ても、善良な習慣を築き上ぐる様學校と家庭とはお互に小供の爲めに盡す處があつて欲しい者である。それには矢張前に述べた、なる可く保護者は小供を連れて、新入學の刺戟をしてよく與へて遣らなければならない。此方法として從來遣り來つた、俗に仲間入りとか、坊入とかいふ極めて形式的ではあるが、保護者が小供の前で先生によく頼み、小供をして永く安心して通學勉強させる事が大切である。從つて今日の新入學に對する保護者の態度に就ては、少からず遺憾な點があると思ふ。

□　□　□　□

近來我國が漸く小供に對して冷淡になつたといふに就ては、其處に様々の原因が潜在して居る事は言ふ迄もないのである。第一生活狀態に於てさう何處迄も手の屆くやうな、面倒を子供に見て遣る餘裕がなくなつて來たとか、或は又歐米各國の表面上の養育振りを其儘丸呑みにしたり其他斯く爲らしめた幾多の點があらうけれども、もう少し子供に愛があつて欲しい者だと思ふ。

元來東洋で我國程子を愛する國はなかつた。我々が子供の時代に於ける親達といふ者は、隨分子供のために心血を濺いだ者である。併し今日とても愛が失せたとは謂はれないが、之を其昔に比較すると確に子供を粗末にして居るのは爭はれない事實である。が昔とても眞に子供の養育法に就ては理解して居らないで、殆ど無茶苦茶であつた。

□　□　□　□

扨て小供の初入門即ち初登山の場合に就ての、注意す可きは大略述べたが、次は入學後の事に就て、注意を促して置きたい者がある。

小供が入學すると從來の生活狀態が一變して、精神肉體共大革命が起る事は今更謂ふ迄もない。從つて小供は未だ見聞しなかつた種々の事物に遭遇する。そして其度每に驚いたり喜んだりする。で今迄は遊ばふが、寢やうが、何時でも勝手氣儘であつたが、最う其麼事は能ない。一定の時間內に食事課業をしなければならないので、凡てが時間的になつて來る。遊ぶ時間寢る時間、食事の時間等皆一定の形に嵌めなければならなくなつて來る。此動機を利用して様々な手段を以つて其習慣を築き上げる事が極めて大切である。それには私の研究した結果、小供に最もよく適應すると思ふ時間割を示せば、大體に於て次の通りである。(つゞく)

妻格母格あつて人格なし

農學博士 法學博士 新渡戸稲造

□野蠻時代に於ける男女

人間が此世に現はれ來つたのは果して今から何年以前であつたか史籍の以て之を徴すべきものはないが、種々の方面から推定すると二十五萬年乃至三十萬年以前の事に屬するやうである。而して其當時の人間が今日の如き兩性の特異の點が顯著であつたかといふと、此は問題である。

彼の微蟲でさへ兩性が劃然せりといふのは唯昆蟲學者の說に過ぎぬので、我々の眼では到底能く之を判別する事は不可能である。加之蚯蚓の如きでも、否更に一歩を進めた鳥雀の如きでも、容易に其判別が附かないではないか。そこで我々人類も極く野蠻時代に在ては兩性の區別は判然せぬといふ方が妥當である。假令ば北海道のアイヌの如き、又臺灣の生蕃人の如きも生理上男女の區別を知る事は出來るが其容貌のみでは一見何れが男女と見紛ふばかりである。

希臘の名高い哲學者プラトーは、人間は本男女混淆で兩體であつたが中頃それは眞中より截斷して一を男性とし、一を女性とした。ところが人情其半分を他に奪はれたるやうな心地がして、坐るに寂寥不便を感せざるを得ない。其處で男は女を、女は男を慕ふて其本源へ立還り長短相補ふて行かうとするのであると說いて居る。

□動物の進化せる證跡

之は素より想像說に過ぎぬであらふが、兎に角太古に於ては男女の區別が今日のやうに、顯著たるものでなかつた事は眞に誣ゆべからざる事實である。今その理由なり證左なりを詳しく述ぶる事は少し憚るが、唯一言でわかり易いのは男性には子は產むのでもないのに今日尙乳房の痕跡を殘し居るが如き、又女性の或者に於ては數個の乳房の附いて居るのもある。之を醫學上では餘計な乳房といふて居るが、之等は畢竟其以前我々は動物であつた證據であると同時に昔を忘れぬやうのその形見とも見る事が出來る。又今日の野蠻人種を觀るも男女の區別が顯著でない、野蠻國では前にも述ぶる如く其容貌に於ては勿論、骨格に於ても殆んど兩性の相違の點を見出す事が容易ではない。之で見るとプラトーの說も强ち夢物語りでもなささうである。

□食物の相違と其關係

然らば今日文明國の男女は、何故に其區別が顯著に爲つて來たかといふと、それは食物の關係である。第一女性は姙娠

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

の際生理狀態變化を起すより隨て其食物にも變化を來すが、其他の場合に於ても女性は男性に比して、身體殊に脚部の運動が不足である。野蠻時代には男性は山野を跋渉して、猛獸を捕獲するを殆んど日常の職業として居たが、女性に在つては獵をするなどは、骨格から考へても不適當である。そこで肉食を得るは男子の仕事と爲り、女子は家に居りて亭主の持つて還る物を料理するに止まる。而して傍ら烈しい勞働をしないで食を得やうとする考へから若菜を摘む野菜を作るといふ事に爲つて自づと運動不足と爲る。そこで肉食は男性菜食は女性といふ一の習慣を作るに至つた事は亞弗利加、亞米利加などに其例證が澤山あるのである。斯して此の食物が男女の趣味に如何なる影響を及ぼすであらうかといふに、女性は肉よりも菜食を嗜むやうに爲つた。而して化學上肉は骨格を養ひ、野菜は肉を保護する血液に水分を多く含蓄せしむる食料であるから、それより一歩進めて心理的働きも段々相違を見るに至つたのである、則ち肉を喰ふものは自から慘忍の性を養成し、菜食をするものは自と柔順の性と成つて常に服從的に傾く、更に言へば食物の關係上一は心が剛強となり、一は柔弱と爲る、そこで男性は動物から吸呼せる勢力を以て事毎に女子を壓迫抑制する。

爰に於てか男女の間に習慣の相違は生じて仕事の上にも夫々區別を生じ、則ち男は山へ柴刈に女は川へ洗濯にといふ風に、經濟的の關係で分業に爲つて、玆に兩性の區別が明瞭となり、何時しか男性の爲めにのみ便利な制度が出來て、女性は常に不利益な地に立たなくては爲らぬに至つた。

□人間は男子のみの專有物

支那は文字を詮索する國であるが、女といふ字は屈んで兩手を合せて居る形に成つて居る。之で見ると支那では女といふものは、何處迄も恐縮の字で服從を意味して居る。其甚だしきに至つては、人間とは獨り男性のみを稱するの謂ひで女性は準人間と爲つて居る。西洋でも男をメンといふ、メンとは人間である。而して女はウーマンといふて男に準じた人間といふやうにも聞える。そこで男女の區別が益々明瞭に爲つて來て、同時に男本位で今日迄繼續されて居た。我國でも今日女子を教育するには、口やかましく良妻賢母主義の下で故らに良、賢の形容詞を冠らしてやつて居るが、之等も人間としての良人賢人を養成しやうとするのではなく、唯良き妻として賢しき母として教育すればよい事に爲つて妻格、母格はあつても人格のないものにして居る。又日本では、人は武士花は櫻といふて居るやうに、人といへば武士則ち男性を意味して居るのである。斯んな風に女子は人間として認められて居なくて、人間は男子の專有物と爲つて了ふたのである。

□女子の人格を確認した宗教

基督は『爾の欲する所を人に施せ』といふた。又孔子はそれよりも以前に『己れの欲せざる所を人に施す勿れ』と説いた。之は積極と消極との二方面から道ふたもので其意味に於ては同じであるが、此處に表裏がある。基督の爾といふた言葉には男女を含まれて居るが、孔子の己れの方では男性のみ

を指して居る。支那は夙に一夫多妻主義であるから、男が多くの妻を持てるにもかゝはらず、妻にも多くの夫を持つ事を認容するは其欲する所でなからふが、基督は獨り男性に限つて居ない女性をも此中に包含して自他平等に其欲する所を行はしむ、之が基督敎の重要な所で一は人格を認めて居るのと一は人格を無視して居るのであるから其間に非常の逕庭を有して居るのである。且つ女子の人格の存在を始めて世に敎へたのは基督敎であつた。が然しその後とても隨分朦朧たるものでポーロの書いたものを見ても、之に就ては多少疑惑を存して居るのを認め得ないでもなかつたが、十六世紀頃オーガンチンが出で、それからルーテルで出て來てから漸く之が明瞭になつて今日の歐洲では女子の人格は確認さるゝに至つたのである。日本では人格といへば極々新らしい僅か二十年以來の言葉である。之に就て少し其以前の話をすると、

　予は舊盛岡藩士で父親は御用人を勤め、侍士七八人も供に連れ、威風堂々と出仕して居たのを見て、予は子供心に眞に偉いお父さんであると思ふて居た。ところが一年父親は藩主に扈從して京師の禁裏へ伺候した。すると紫宸殿上にはやんごとなき五攝家の面々が整列して居たが、藩主も父親も鄭重に會釋したにかゝはらず誰一人として之に應酬するものがない。そこで父親は心窃に不平で之を左右のものに漏らすとお手前の藩主でさへあれだもの小臣ものゝお手前に何んで高貴の人が禮を返へさるゝものかと嘲笑されたさうである、

　如斯明治維新前迄は、我々男性であつてすら人格を認められなかつたであるから、況して女性に對して之を認め得られなかつたのは當然であるといはねばならぬ。

□貞操問題の根本要義

　之を要するに、女性と雖も齊しく人間の形體を具備せる以上は、男性と同じく其人格を認めて是を尊重すべき筈なるに一言の下に女だものと輕蔑する如きは抑も何の心ぞ。假りに兩性の觀念を取除け、女性にても人格を有すれば其人に對して之に尊敬を拂ふて然るべきで、敢て亦男女の區別を問はないのである。此が貞操問題に對する根本要義である。予は曾て或る演劇を見たる中に、殿樣が侍女に戯るゝ一齣があつた侍女はどうしても、其意に從はぬので老女が來て來て頻りに口説く、けれど之れ亦斷乎として肯へんせぬ。そこで老女は何故かといふと、私は顔は賣りませぬとの一言、老女は然らばお前には亭主があるかと問ふとさうでもない。すれば許婚の人でもあるかと推すと矢張り頭を横に振る、老女は大に訝かりつゝ夫もなく意中の人もないに誰に向つて貞操を守るのであるかと詰問に及んだ。予は此處に至つて憤慨を禁じ得なかつた、日本の女は貞操とは相手がなければ存在しないものと考へて居る。

　本當の意味の貞操とは持主に對する義務ではなく絕對的自己自身の心と身體とを守るべきものであるといふ事を知らぬのである。けれど飜つて考ふれば女性が斯んな間違つて居る事を考へるのは無理はない。之は女性の人格を認めないから起る。宜敷妻格母格の前に先づ人格の敎育を施さねばならぬ。

たった一言を謂ひ得なかった爲め

□死なねばならなかった彼は＝
＝此社會を什麽眼で見たらう□

婦人救濟係　伊藤富士雄

口多くの娼妓が、折角泥足を拭ふて明るい社會へ出やうと自廢を企てゝも若し其信念に於て薄弱な者があつたなら、揚句の果ては自殺せねばならないやうな、破目に陥いる揚合があるといふ事は、前號にも豫め述べ置いた處である。

口今玆に書く一事件も、矢張其類のものであつた。併し彼女と其周圍の事情、抱主に於て聊かの相違があつたのは言ふ迄もない。が彼女が自廢の決心に比較すれば、其信念に於て確に淺い處があつたと思はれる何故なれば彼が最も氣にした頭髪の有無といふやうな觀念が無い許りでも……。

口けれども如何なる動機があつた者か、私が出來得る限り盡した方法も手段も、何等其効を見ずに終つて仕舞つたのである。娼妓の自廢に携つて以來、五百餘人を救助したが、其中斷る類に屬した者の三人中の一人であつた事を殘念に思ふ。

口新吉原江戸町二丁目十九番地中村樓事齋藤松治郎方に常盤木といふ出稼娼妓が即ちそれであつた。彼も同じく東北の邊村から連れられて來た事は、別項の彼の手紙を讀んでも大略知り得る處である。而して彼が娼妓になつたのは、大正元年の春、娘盛りの十八歲であつた。

口元々娼妓稼業とは甚麽ものか抔は、到底彼の知る範圍でなかつた許りか一も二もなく周旋屋の出鱈目言に信用した彼の一族の者迄が、華やかな東京!!殊に絢爛眼をして眩ましむる東の都へ行つての、彼の生活は、美衣美食何の爲す所もなくして、殆ど遊び半分の稼業のやうに想像しては羨むだ者もあつたのであらう。

口然るに、彼自身が想像したやうな其麽氣樂な天地ではなかつた事に氣が付いた頃は、最早彼の精神と肉體との上には、どす黒い陰鬱な雲が掩ひつゝあつた。其間行先々の身の儚さに、數知れず涙に袖を搾つたけれども、泣けど叫べど、其切ない苦痛の迸しりは、何等の反響する處もなかつた。只故郷の狀態が、彼女の幻に描く唯一の慰めに過ぎなかつた。

口夫れでも身體が健在である間は、厭々乍らも稼業を續行し得たが、日々の不攝生の結果は、遂に病魔に襲はれて了つたのである。さなきだに沈鬱な彼の胸の裡は、何者をも呪ふ可く餘儀なくさるゝに至つたのである。或時一遊客から、自由廢業を爲し得るから、堅氣になつたらどうかと奨められて自廢を思ひ立ち、覺束ない筆を運ばせて手紙を寄越したのである。

(前略)うつの、おかあさんも、[illegible]日から、ここに、ちいて、なりましたが、さて、いまさ、なりましさ、いまにも、しれない、おかあさんの、いのづなのでしそれでしから、いきたい、くさも、いくこさわ、できませんので、じぶんも、からだが、よわいのでしからいくたいさわ、なもへません、からだがよわくて、一日みせを、でるさ、三日も、四日も、やしみましよ、でしから、わたしも、いまゝでわ、ごうしよかさ、いろいろ、かんがいましたが、つよさ、よその、人に、きゝましたので、それお、おれがい、しまし、ごーかふびんさ、おぼしめしが、ありましたならば、おれがい、もしまし、くれぐれも、おたのみ、もしまし、れて、なれば、ほうばいの、人にわ、みじめにしられ、うつの、しじんに、わ、いろいろの、ここさお、いわれまして、じじに、わたしが、つらいのでしよれておれば、じぶんで、つこう、こじかいにも、まごじくよな、ありさまでしそれでしから、じぶんわ、人りで、いくら、かんがいても、かんがいよが、ありませんでしから一そしんで、しまうかさ、おもうたこさが、いくら、ありましか、しれませんでし、それお、またかんがい、なおして、よその、人に(下略)

口私は早速助力に赴いた。而して相當の手續を履んだ後、最後の肝腎な一言(自分は如何しても廢業する)をキッパリ言ひ切らなかつた爲め、殘念にも失敗に歸した。

口其後彼は随分煩悶したやうである。併し其煩悶は無智な彼の頭には解決する道を得る事が出來なかつた其結果、遂に一遊客と情死を企て、剃刀を以つて互に咽喉部動脈を切斷して絶命して了つたのである。

時は大正三年十月十六日午前五時、二十歲を一期として彼の靈は長へに恨を呑んで城北をさまよふてゐる。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清春秋

河合北洲

□騎手何處に在りや

歐洲の大戰は黃金の鹿を逸して。逸したるを爭ふもの奮鬪の汗馬に鞭つ。鹿を追ふの獵夫は山を見ず、敢てすべからざる粗製濫造の柵を越へ、信用失墜の沼を飛び、虛僞積出の林を走りて、走る一目散なるものは國家の體面を忘れ、商業道德を忘れ、自己の立脚地をも忘れんとす。

社會の半面を切斷して、其裏面を活寫するものは、只馬と鹿の競爭を見る、騎手何處に在りや。彼尙ほ御しつゝありや將た御されつゝありや。

□忘れざるもの何處に在りや

政黨者は昨非を忘れて今善を裝ひ。獨善者は自非を忘れて他非を罵倒し、酒色に利欲に忿怒に其神心を忘れざるもの何處に在りや。

其兩親、其夫、其子、其位地を忘れし一婦人は、其道を忘れし一車夫と、千葉の鐵路に其身を忘る。今や、其苦痛をも忘れて、其良心をも併せ忘れんとす、これ其總計を忘れたる也。

忘る可らざるものを忘る、其心なきに均し、其人なきに均し、寧ろ人生の辭表を懷きて、自ら埋葬するに非ずんば、宜しく新生第一の道に立て、新生の福音を傳ふべし、これ忘れざるに活くる惟一の道なれば也。

□自ら正すもの何處に在りや

政は正也。一身を正し、一家を正し、一國を正す大正の政治家何處に在りや。權謀術數も自他を正す最後の法たらば避くべきに非ざるべし。世界相手の戰爭も自他を正す至善の道たらば、避くべきに非ざるべく、惟正々堂々の王道により東洋の旗艦日本をして。日本ならざるも

食前茶後

先達のこと

或る會社の重役室の煖爐で、端なくも芳川夫人の話が出た▲斯麽場合に「御愁傷様で御座います」と見舞に行けるが何うかと或人がいふと、其處に居合せた數名が口を揃へ「行く可きが當然だ」と答へたさうナ▲此話を聞いた或る車夫、憤慨して曰く「恥ぢも外聞も知らないにも程がある、他の事と違つて見舞を受ける者の身になつたら、隨分辛いじやないか、如何に不義の境壊が附かぬにも與い加減に程があらう」と盛んに罵つて居たといふ▲之を以て觀るに今日の比較的上流社會には、貞操觀念が度外視されて居ると推測される。成程彼麽事件の勃發するのも無理ならぬ事だとは投書其儘

藝者の末路

話はチト古いが此間深川猿江裏町通りに見窄らしくて迚も二目と見られぬ乞食老婆が、門乞をして歩いて居るのを、側で見て居た二人の藝妓「オー厭だ!! マア隨分薄氣味の惡いこと」と、顏をしかめて行く其の後容姿を見送つた乞食の曰く▲「チエッ―薄氣味が惡いツて? 何が薄氣味が惡い――將來にお前達も、此容姿に成り果てるのも知らないで與い氣になつて客を瞞して居るが今に見てゐろ」と口走り乍ら、ヨボ〳〵と何處へか行つて了つたといふ▲此有樣を始終目擊し居た或る一靑年が、早速本部を訪れて入會を申込んで行つた時の話其儘。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

のと與に、至安至正至善の航路を求めしむるに在る耳。かくて右一轉するも可也、左一轉するも可也。一轉更に千轉萬轉するも亦可也。況んや奮前猛進するをや。要は、當路者が至誠至意を以て、神識達眼を以て海圖と羅針盤を正視するや、否や也。由來、天祐、地利、人和の一調子或は多少の變調子を以て進みし帝國、近來何ぞ、大天才なく、大達人なく、僅かに私利私黨の雄者たるもの、紛々擾々として大亂調に走らんとするは如何。

代議士は國民を代表するものなりと云ふ。惡漢に、妓樓に、酒舖に濁れる一票を貰受けし乞食も亦代議士なる耶、朝には甲黨の陣笠を被り、夕には乙黨の袖を曳く醜業者も亦代議士なる耶。抑も選擧民の選惡を選擧するは偶々帝國日本をして日没たらしむるものなるを知らざる耶。

大風起て雲飛揚す、國運の前途測る可らざるの時、自他を正し、國家を正す、大正の人格と機運はそも何處に在りや。

□自ら教ふるもの何處に在りや

宇宙の結論は神と人也。人を敎育せんとする敎育家はあり、自らを敎育せんとするの敎育家何處に在りや。己、未だ人たらずして、人を敎育せんとす、人の子を賊なはざるは幸也。

敎へざるを以て敎ふるは、敎ふるの上乘なるもの也。敎へ過ぐるを以て敎へざるは今の所謂敎育家也。

爲すなきを以て爲すあるは、育つるの上乘なるもの也。徒らに助長の手段を以て盆栽化せんとするは今の敎育法也、其能く枯れざるは、天恩の尚足るもの、剩るものあれば也。

此口や、方便を常にし、酒を飲み煙草を吸ひ、爾の口や、僞る可らず、飲む可らず吸ふ可らずと云ふ。これ通ず可らざる絶緣の電流也。

此心や、陰險、貪欲、時としては名聞淫亂に汚る、而して爾の心や克己、廉潔正義、寡欲なれと云ふ、之れ二重三重の人格變裝法を敎ふる俳優たるべし。人の子神の子を導く道には非ざる也。

自らを敎ふるは、他を敎ふる所以也。自らを育つるは、他を育つる所以也。これ宇宙の進化の自動法也、月給の多寡、待遇の如何に依て決すべき他動問題に非ざる也。

自分の愚さ

此間、電話で幾何手數料を納めれば娼妓の自由廢業が出來るのです？といふ問ひ▲「否手數料抔は一厘も要らぬ」と答へると「夫れでは廢業後何か仕事でも」と折返し聞くから」決して其麼御心配は要らない。自廢を望む者があったら、只今でも助力して上げますから御安心して、御知せ下さい」と謂ふと、電話がプツリと切れて了った▲ハテ面妖なと氣懸りにして居ると、其翌日一通の封書の中に「昨日云々、如何に世の中が變ったと云へ、娼妓の自由廢業抔を物好きにやる者がある可き道理がない」といふやうな意味が、諄々と書き連ねてある。其最後の文句が頗る振ってゐるから原文の儘茲に掲載すると「大金でうった身に候間。自由に廢業が出來るわけがない女郎屋でも左樣申し居候。私も左樣思へます。」▲其處で早速自由廢業案内を一部送って遣ると、其後幾日か經て態々本部迄、御禮に來て曰く成程借金は借金身體は身體で全然別物である事や、貴會の趣旨も十分知る事が出來ましたと今更乍ら、自分の愚痴を滾して歸った人がある。

奇怪な廣告

誰が何と辨解した處で、「藝妓即ち醜業婦也」といふ事は判って切った話だが現在でも何うかするとイヤ藝妓は一個の藝術家だの、やれ白拍子の末孫子だのと鹿爪らしく辨解したり、何と彼のと屁理屈を並べて肩を持って喜んでゐる連中もある▲然るに近來帝都の某大新聞に「藝妓見習募集」といふ廣告が始終出で居る▲物事は考へ樣だと云へばそれ迄の話だが「醜業婦見習募集」といふ意味か、イヤサ「賣春婦見習生募集」とは如何したものだ。

最近の廓清運動

白萩生

□理事會開催

飛田問題、本年度總會開催準備方針、及び萬國廓清會大會等の件に就て、二月二十五日午後七時より島田會長邸に於て、秘密理事會を開き、二三を附議して、同九時半閉會した。

□南信支部設立

過般來、南信支部設立に奔走中なりし長野縣上伊那郡辰野町林正善氏の盡力にて、此程愈々支部設立を見るに至つた。吾人は茲に氏の勞を感謝する。因に之れが發會式は好時期を選んで近く盛大に擧行する筈であるが、委員氏名左の如し。

會長　林　正善　　書記　北原　時衞
幹事　長田音一郎　向山　收　小池ひさし
會計　大島　兌輔　瀨戸　武一
　　　上島　褒　　庶務　竹淵　靜雄

□貞操問題講演會

三月十八日午後二時より市內天王寺公園公開堂に於て開催、司會者林歌子女史開會の辭を述べ、農法學博士新渡戸稻造氏は「男と女」と題し一時間半に亙つて從來の男女關係論より現在に及び、更に進んで理想的婦人に就て、將來に望む處あり、聽衆をして深く感動せしめ拍手の裡に壇を下る。次に本會理事益富政助氏は「鎌子夫人に就て」我國に於ける風紀の頽廢を指摘して鎌子夫人が情死したる原因が從來の舊道德にあるを嘆じ、之れが矯正の方針に就て縷々述ぶる處ありて後、萬國改良會東洋部長たるツイング氏壇上に立つて流暢なる日本語にて、萬國改良會の目的を略述し、支那の阿片の我邦に於ける酒の害より說き起して、夫よりなほ甚だ戰慄す可き者は淫賣并に公娼なりと絕叫し、我國の今日に於ける立場を說きて東洋の模範國とならざる可からずと我國民の責任を明確ならしめて、最後に惡覺征伐の緊急なるを痛切に論じて同五時閉會した。此日聽衆千五百人に達し、さしもの大公會堂も立錐の餘地なき程の盛況にて、即時入會者五十名を得た。

□京都支部演說會

三月十九日(月)午後七時市內三條青年會館に男女貞操演說會開催。原田支部長司會の下に、益富政助氏は「芳川夫人に就て」新渡戸博士は「男と女」と題し、各々獨特の雄辯を振つて說去り說來りて滿堂の聽衆を醉はしめ同十時閉會した。此夜稀れの大雨に拘らず樓上樓下充溢して蟻の隙間もなき程であつた。入會者八名。

廓清會に入會を勸む

公娼制度は、道德を毀り、風紀を紊り、個人を賊ひ、家庭を傷くる、世の最も恥づ可く惜むべき賣淫を公認するものにして、延いて人身賣買の蠻風を伴ふ醜惡極まる制度也。然るに因襲の久しき人の耳目に熟する事餘りに甚しきが故に社會は遂に羞恥の心を失ひ、道念沒了し、毫も怪しまざるに至れり。之れ社會人道のため、國家風敎のため最も憂ふべき事には非ずや。於是乎「廓清會」起らざるべからず。冀くは覺醒せる國民諸君、男女老少を問はず速かに本會に加盟し、此大問題解決のため一臂の力を惜まざらんことを。

廓清會會則摘要

一、本會の目的は男女間に貞潔の德操を奬め家庭を純潔にし社會の風紀を廓清し人生の幸福を增進するにあり
而して公娼制度は此目的に反する惡制度なるが故に全癈を期す

二、本會は其目的を遂せんが爲めに左の事業を爲す
(一)公娼問題に對する各方面の研究調査
(二)公娼癈止の善後策を研究すること
(三)藝妓酌婦其他類似の稼業者に關する調査改善
(四)蓄妾、私通、姦通、結婚、離婚等に關する調査改善
(五)婦人問題貞操問題に對する現狀及思想の研究指導
(六)娼妓其他醜業婦の救濟
(七)公開演說會を開催すること
(八)毎月一回「廓清」と題する雜誌を發行すること
(九)時々適當の出版をなすこと

三、本會に入會せんと欲するものは男女を問はず住所職業、氏名(年齡を記し本部に申込むべし
但贊助會員は必ず口數明記のこと

四、會員を分つて贊助會員、正會員の二とす
(一)贊助會員とは金貳拾五錢を一口として、毎月一口以上の維持費を收むるもの
(二)正會員とは毎月金七錢づゝの會費を收むるもの

五、會員には機關雜誌「廓清」を毎號無代配付す

注意　會費の拂込　會費は總て前金とす拂込は爲替切手等何れにも差支なけれど振替貯金によるを双方の便利經濟とす(振替口座東京二七〇七二番)廓清會本部

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

—■□天鼓の響き□■—

女子の罪？男子の罪？

深川 有馬純雄

男女同權を說くに對し躍起となつて反對する者がある。其の言ふ所を聞くに、女子は其能力に於て將た又體質に於て、到底男子と同等なるべきものにあらず。と否定し尙男女優劣は先天的に定まつて居る者で、何者の痴漢が敢へて男女の同權を說くやと、日陰武者は言ふのである。

余は敢て此に男女の同權を論ぜんとはせない。暫く論者の言に從つて男女は、先天的に優劣がある。即ち男子は女子より凡ての點に於て優れて居ると云ふ前提に從つて、扨て一言したいのである。女子は男子より能力に於て體質に於て劣つて居るとすれば、從つてその德性も無論男子より劣つて居るのは自明の道理である。然るに余のやうな非論理的な、頭腦を持つて居る者にも解釋に苦む事がある。夫れは今日婦人問題に對する社會の注目と秕政との著しきを見る。

勿論今日の婦人が理想的であると言ふのではない。完全無缺な者ばかりとは思えぬが、火のない處より煙は揚らぬの道理で、隨分非難攻擊に値する者の尠くないのは事實であらう。併し清き流に孑孑はわかぬと同じ事で、今日の如く醜婦人の多きは、云ふまでもなく社會風敎が日々淫猥に流れるものと、所謂男子が誘惑して彼等を陷れるものとの二つの原因があるであらうと思ふ。

視よ、今日の男學生の多くは、一向女子の歡を得るため容儀をつくろひ、カラを高くし、コスメチツクを匂はせつゝ、女たらしに浮身をやつすやうな品性下劣な者が決して少なくはない。

世に又自由戀愛などを唱えながら、却つて權門の餠馬たるを熱望した者もある。許婚の少女を捨てゝ富豪の女婿を志願した者もある。保護を名として處女の貞操を弄んだ者もある。その他彼等の敗德汚行數へ來れば、迚もお話になつたものではない。同じ異性に關する非行でも、男子が行へば當然の事として咎めず、女子が行へば忽ち鼓を鳴らして非難をするとはどうしても余には其道理が分らない。

今日弱き婦人等を攻める先に、不品行の社會、及びその指南役たる案內者たるべき、男子の方を十分矯正して掛らねば何の甲斐もない。併し貞操に關する非行は、男子よりも女子の方が罪が重いと云ふ者があるがこれも余には一寸合點の往かぬ道理である。前にも云つた通り、女子は男子より凡ての點に於て劣等であるならば、德義の感應も鈍い筈だ。鈍いそれ丈け社會の制裁も、亦酌量減輕すべきものである。然るに女子の事と云へば、鵜の目鷹の目、遠慮會釋もなく、尾に尾をつけて書き立てる連中は果して何の量見であらう

今日の女子の不品行墮落も確かに事實である。されど徒に女子をのみ咎めて、罵詈讒謗をこれ事とするは抑も末である。先づその病源に遡つて、根本的大手術を施さなければならぬ。同情の伴はぬ小言は三歲の小兒も、決して耳を傾けるものではない。即ち弱い者いぢめは堂々たる者のすべき事ではない。

根本的大手術とはなにか。請ふ去つて眞正なる宗教家に聽け、蓋し思ひ半に過ぎん。彼の喧々たる犬の遠吠はた何するものぞ。

人道日々頽れ、月に衰へるを歎く者は、皆社會の生命人の行末を憂ひ、高く清き者同情ある者は、肉を賣り色を鬻ぎ、情を弄びて世の人を蠱し、天下の男子を魅すと罵しる男子の多くを先づ懲す可きである。元來女は穢き者とのみ思ひ、生れながら尾があり、四足でありし者のやうに言ふ古い道德を去つて、相愛して斯の大局に當つて醒めねばならぬ。

彼等の假面を奪へ

下谷 山中生

現時吉原と洲崎の兩遊廓の營業は、近來稀れに觀る盛況といふ。吾人は凡そ其原因が那邊に在る哉、敢へて想像し得る迄に易しと雖も、今此處には辯啾する要なきを以つて、暫く後日の問題として之を讓らん。抑も彼等の賣淫業なる者が一個の社會的犧牲業の如く考へ、之を大いに誇とし、他に爲す者なきが故に我等の獨占營業法に依り如何程無法の代價を卷上ぐるも敢へて我等の權限內なりなど豪語するの甚だ遺憾とし彼等に其反省を促さんと欲す。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

固より彼等は人にあらず。只人らしき面を被りて、人間並に字も書けば、話も通じ、歩行し得るだけの動物にて、之を常套語にて評せんか、即ち人面獸心とは彼等を指すに、極めて適したる語と謂はざる可らず。何時の頃かは知られど、娼妓を飯盛と云ひ、樓主は無頼漢（今日と雖も其類ひ多し）といふ通用語を彼等に與へたる時代あり。

實に其昔に於ける社會眼は、彼等の商賣を殆んど穢多以上の取扱ひを爲したるに、最近に於て之れに諸税を課すに及んで、保護法は設けられ、諸種の規則は産出されたる者也き。時代の變遷は極めて豫測し難し。隨つて如何に今日の如き「石が流れて木の葉が沈む」といふ變態の風潮とは謂へ、寔に慚愧に堪へざる者ある也。論ずる迄もなく彼等は節操の何者なるかを知らず進んで人道に至らんか、未だ嘗つて逆墜の星霜を經て墓地を慕ふの齢に至ると雖も、耳にせし事なかる可き答也。然るに各自の家庭に於ての節操の嚴格なるは、思ひ半に過ぎる者ありといふ。殊に貞操云々に及んでは、針の尖端の紛事すらも、大問題を惹起すといふ。

吾人は斯る事實の眞否を知らず、隨つて今が今迄考へたる事もなき也。若し果して眞なるに於ては、益々彼等の上に大なる筆誅を加へざる可からざるは論なし何となれば斯く貞操の奈何を朦朧乍らも識別し得るに當りて、他人の子なるが故、之を餓狼の餌に供して、私かに人間の生血を吸るに恬然たる、彼の態度の憎む可き人面獸心とは、之を一蹴して社會より葬らざる可らず。余は孰れの日か彼等の前に、前非を悔ゆるの時來らん事を切望すると同時に、天の災なきを甚だ憾みとす。

天は災を以って救ゆ

三重 越溪生

洲崎魔窟の焼燼は、一面彼等醜業者に對する好個の刺戟かと被存候。彼等が自己が營む業の醜なるを知り一日も速に覺醒せむ事を祈居り候。亦客月、當縣下一身田遊廓に、天然痘患者發生仕り候。其患者なる者が、憐れむべき娼妓に有之、病原は遠く大阪地方なる流行地よりの遊客のもたらしたる者らしく、本縣は昨年末より、四日市に於てペスト發生、一般に人心兢々の折柄、亦も天然痘發生せし爲め、其病毒蔓延防止のため、多方面の遊客に對し、一々嚴重なる消毒をいたし候哉に及聞候。同娼妓は、病氣傳染後數多の遊客に接し、立つ事のできぬ程の重患になり、初めて醫師の診察を受けたる時分には、全身は申すに及ばず口中舌にまで發疹を見たと聞く、實に驚き申し候。恐怖心を以て注目いたし居り候。同病も幸に、流行蔓延の危險をも見ざりしは、不幸中の幸とも申すべく候。疫病の媒介所とも申すべき、醜窟の廢止の一日も早からん事を祈ると共に、彼の憐むべき娼妓廢業の上に、多くの機會と、助力とを與へられん事を、切願仕候。

□上流社會の誡め□

法學博士 山脇玄

▲芳川伯家今度の出來事は芳川家に對し誠に氣の毒の至りで何とも申上げ樣はないが、此際一般上流社會の人々に向ひ一言したいのは、此事件を好き手本として反省を促したいとである。

▲現今多くの上流階級の人は或は藝娼妓に戯れたり、或は妾宅に日夜入浸つて居る有樣だが、斯くの如き狀態では、家庭の圓滿や子女の教育が出來るものではない、或大家の主婦の話に私の良人は一ヶ月中に宅で晩餐を食べるのは僅に三四日位なものであると云ふ話を聞いたが、それは商用とか交際上餘儀ないことゝは云へ、中には料理店待合等で遊んで居る不量見者も尠くない。

▲併し之は男子ばかり責むるのは酷であるが、女子と雖一家の主婦となつた以上良人の歸る時分には薄化粧か何かして、終日仕事のために疲れて來る良人を心持好く迎へると云ふのが一家の主婦たる者の道である。然るに我國の家庭では餘り之が行はれて居ないから良人は家に歸つても面白くない故何處かへ遊びに行く樣になるのである。すると夫人も嫉妬半分で今日は三越明日は芝居と云ふ具合に遊び廻るのだから、其家庭に育つた子供に碌な者の出來ないのは當然のことである。

▲近來不良少年の多くが上流社會の家庭から出て居ると云ふのは國家の爲め寒心に堪へない次第である、或學者は我國の上流社會の子供は餘り世間とかけ離れて居る、一方には道學先生の教へのみを守つて居るから斯くの如き結果が生ずるのだと言つて居るが、之には私も同感で今一歩進んで現今の教育方法を改めて社會上の智識を學生に普及したいのである。

▲我國では一部の學生が新聞を見たり相當權威ある小説を讀んだりするのを嚴禁して居る樣だが、これでは益々我國の前途が思ひやられる。英國邊では大學生に對し科外講話として有名なる小説を講演して居るが、彼のイプセンのノラなどは最も現今の社會を諷刺して居ると思ふ、故に私は我國の上流階級の人に今少し自己の人格に重きを置き家庭の圓滿を計つて貰ひたいのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

熱血紅涙

□**吉田彌之助君**（小樽） 豫期の通り、今區會に奴隷屬の一件が不眞面なる區會議員に依りて提出致され候。提出の動機及理由に至りては、實に唾棄すべきもの有之、斯くても區會議員かと竊笑する者あり候。加も一方眠れる十萬の區民、殊に五百に近き基督教信者が、之れに對して何等の反對的行動に出でざりしは返す〴〵も殘念なる事に候。之等の顛末を委しく御報知したきも、目下學期末にて其時を得ざるを遺憾に存じ候。併し學年試驗終了次第同問題の經過を、會員諸君の前に訴へたき希望に御座候。

□**有馬純雄君**（深川） 時節柄御多忙の事と被察候先日御拜府の砌申上候通り、鄕里鹿兒島に向け會員募集方を或友人に委託し候へば近日中何とか通知有る筈と思考せられ候。時に今回の總選擧に方りては日頃の主義主張を高めんがため、此の際尚一層の御奮戰偏に願上候。

□**吉村米次君**（富山） 何時の時代でも廓清の聲の必要を認めなかつた事は無かつたやうであるが、近來のやうに社會何れの階級を見ても廓清を要するやうな時代は未だ嘗て見なかつたと思ふ。之等は要するに人心の腐敗墮落が其の主因となつてゐる事は瞭然である而して今や其の形式內容共に、これ以上墮落腐敗することは出來得ないやうにまでのドン底に落ち、而も目醒めればそれでも幾分か望む者ありとするも、現在の社會は何れの方面を覗つても醒めた者は無い。故に此の儘持續し行くならば實に怖るべきものがあるに相違ない。廓清の切要は最も速急を要するのである。幸に會員諸君 社會人道の爲め、廓清の二字をして能く貫徹せられん事を望む幸に健在なれ。

□**西野芳一君**（山形） 曩に芳川伯爵夫人の痴報を各新聞紙等が三面の特種として大分書立申候ひき。而して一齊に歸する所の事實は單に痴情の結果のみを詳細に記載致し候も其肝腎な原因、即ち何故情死せねばならなかつたかと云ふ理由に至つては、遺憾乍ら新聞にては開知し得ず候。それが爲め社會有ゆる階級者は未だに其の疑問を解決する能はず、それがため揣摩臆測實に口にするさへ、忍び得ざるの卑劣の觀察さへなすもの間々相見え候。兎に角斯樣な次第にて社會人心就中、青年男女の貞操觀をして或は過りなきを期し難き程の事態とはならざるまでも、其影響せし範圍は極めて甚大なるものと思考せられ候。嗚呼上流家庭の貞操觀念の代表事件とならざることを希ひ申候。

編輯の後

△百花燎爛の時が來ましたが、此の好期節に行はれる總選擧に、どうか男女問題に理解ある紳士を得たいものです。安部副會長を東京市から本會が推選したいといふ希望が大分會員の中にありましたが、まだ其時期に達しませんでした。內ヶ崎理事も故鄕から立たれるやの噂がありましたが、此れも今回は實現を見ませんでした。

△向軍治氏が先達て、自分は新思想黨といふやうなものを作つて、政界の馬鹿共を敎育したいと思ふとて、大に氣焰をあげ、差當り早稻田から安部君や、內ヶ崎君が出馬して貰ひ、慶應から私が立たうと思ふ。併しお互に新思想黨員になりさうな人は金氣がなくて困るね、と笑つて居られた。

△其時永井柳太郎氏が、憲政會も、政友會も、國民黨も裏面に廻ると皆それ〴〵某々富豪の力を借りなければ、全く選擧に臨まれない。こんな事でどうして新日本の建設が成らうかとて、安部氏の推選と立候補を勸誘してゐたが、とう〳〵自分で金澤に立たれた。そして痛快な活躍振りは今次の選擧に唯一の見ものとなつてゐる。

△客年五月號御寄附等を願ひました處、續々特志家から御寄附下さいました事を感謝致します。

△會費に就ては每號幾重にも御願申上げました通り、集金郵便にては實に繁雜此上もなく、又會員諸君に於て集金料五錢をも、僅半ヶ年分會費四十錢に對して附加へ、御拂込下さらねばならないやうな次第で、寔に遺憾でありますから、成る可く直接御拂込の程偏に願上げます。

△近來天誅の響の類ひの原稿不足勝ちでありますから、ドシ〳〵御投稿あらん事を切望致します。

△本部では近々の內、會員大募集を致しまして、益々本會の基礎を固め大活動を起す筈ですから、其折は何卒出來得る限りの御助力と願ひます。

△小生の病氣に付き、大方會員諸君より早速御叮嚀なる御見舞狀を下さいまして、誠に有り難く厚く御禮申上げます。お陰樣で全快致しました。（伊藤生）

大正六年四月一日納本（每月一回一日發行）
大正六年四月一日發行 一部金七錢

編輯兼發行人 神田區今川小路一丁目三番地 伊藤秀吉
印刷人 小石川區大塚窪町一番地 久保民生
印刷所 京橋區弓町十三番地 千代田印刷株式會社
發行所 芝區三田四國町二番地 廓清會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

◉御注文際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉

産婦人科。小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京至誠病院
東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地
電話番町二二五七番

山室軍平氏著
社會廓清論
特價七十錢 郵税八錢

グレゴリー氏著（邦譯）
歐洲諸國醜業公認制度廢止運動
特價十錢 税共

伊藤秀吉氏著
娼妓自由廢業案内
特價十二錢 税共

酒きらいになる藥
禁酒丸
一週分 一圓
二週分 一圓九十錢
三週分 二圓八十錢

とんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の禁酒禁煙論呈進

禁煙液
煙草きらいになる藥
金五十錢 金壹圓 金一圓五十錢

本舗 大阪靭南通二丁目 森田商店
電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二壹二六番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

四月の三越

第卅三回新柄陳列會
■一日より廿日迄

寄切見切反物賣出し
■一日より廿五日迄

洋傘陳列
■一日より……

五月人形陳列會
■五日より五月四日迄

懸賞裾模様圖案陳列
■十日より廿日迄

東京 三越呉服店

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY